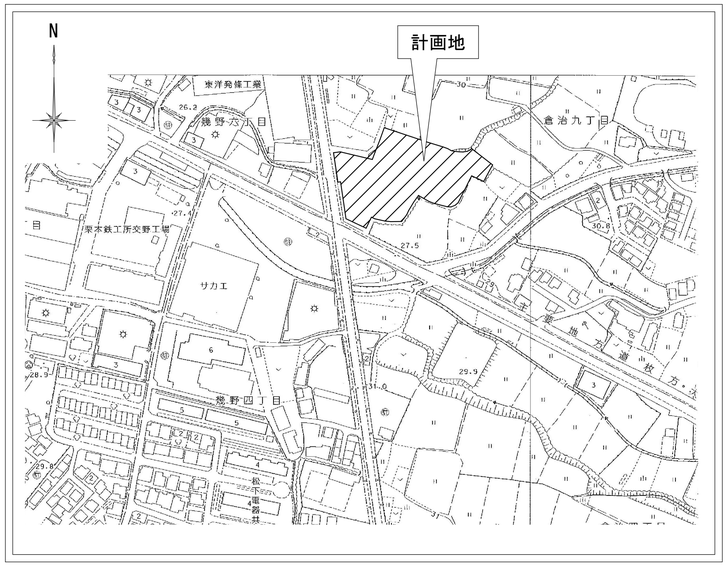
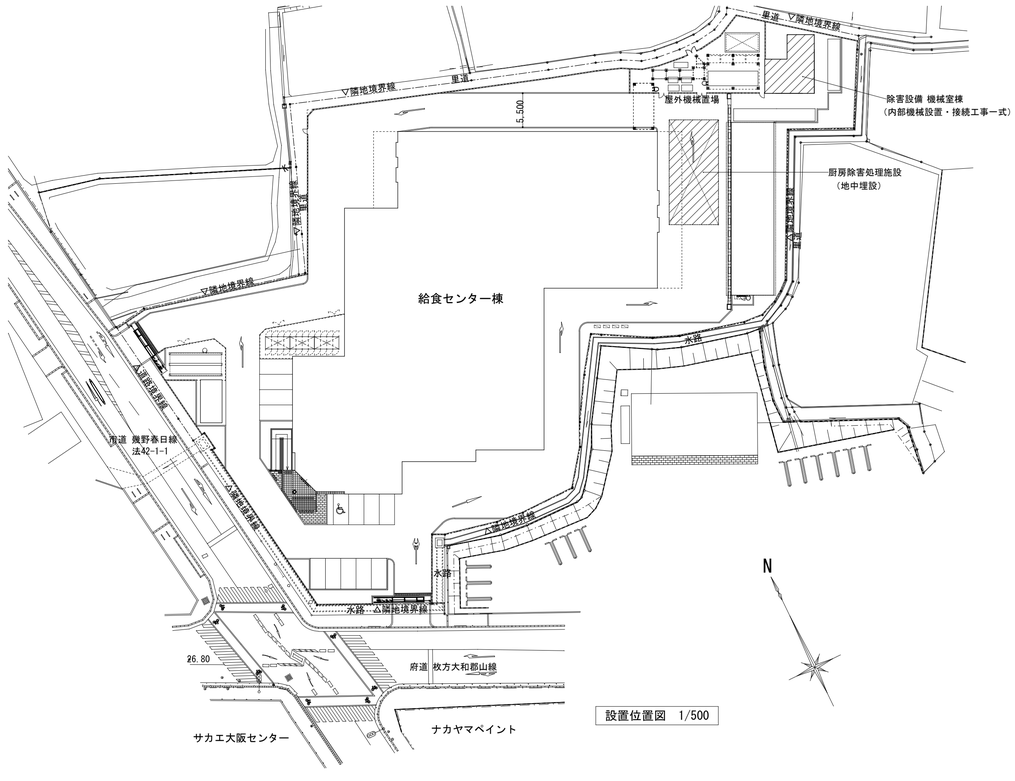
（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内
除害施設貯留槽設置工事

図面番号	図面名称
J-001	表紙・図面リスト・付近見取図・設置位置図
J-002	工事区分表
J-003	除害施設貯留槽設置工事　特記仕様書（１）
J-004	除害施設貯留槽設置工事　特記仕様書（２）
J-005	厨房排水処理設備　特記仕様書
J-006	ボイラー排水処理設備　特記仕様書
J-007	配置図
J-008	排水処理設備　一般構造図（１）
J-009	排水処理設備　一般構造図（２）
J-010	排水処理設備　一般構造図（３）
J-011	排水処理設備　電気図（１）
J-012	排水処理設備　電気図（２）
J-013	排水処理設備　電気図（３）
J-014	排水処理設備　二次側動力配線図
J-015	排水処理設備　躯体構造図(1)
J-016	排水処理設備　躯体構造図(2)
J-017	排水処理設備　躯体構造図(3)



付近見取図　1/2500

建築場所	交野市倉治9丁目2667、2676-4の一部、2687、2688、2688-2の一部、2689、2690-1の一部、2691-1の一部、2699-2、2699-6、2713-1、2713-3、2714、2715
工事種別	新築
用途	工場（義務教育共同給食センター）
食数規模	7000食
用途地域	市街地調整区域
建ぺい率	６０％
容積率	２００％
防火地域	法２２条地域
日影規制	4ｈ/2.5ｈ/4m
その他	砂防指定地域



設置位置図　1/500

記事		検印	担当印	業務名称		工事名称		設計年月
				交野市学校給食センター整備事業実施設計業務		（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事		2014/03
				株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称 表紙・図面リスト・付近見取図・設置位置図	縮尺 —	図面番号 J-001

工 事 区 分 表

工事項目	建築	電気	機械	厨房	除害	コージェネ	土木	備考
S造・SRC造・RC造及び ALCパネルのスリーブ・箱入れ	○	○	○	○	○	○		
同　上　貫通箇所の補強	○							
防火区画・防火壁を貫通する ダクト・配管等の防火処置	○	○	○			○		
点検口　（壁）（天井）	○							
同　上　位置出し	○	○	○			○		
照明器具・スピーカー等の天井埋込機器の 切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し		○						
吹出口・吸込口空調機器等の天井埋込機器の 切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し			○					
換気扇の取付け工事			○					
同　上　取付け枠（木枠）	○							
同　上　取付け枠（木枠以外）			○					
同　上　電気配管・配線及び接続		○	○					
同　上　リモートスイッチ取付け		○	○					部品は 各工事支給
同　上　天井切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し			○					
設備機器（ダクト・配管様）下の天井下地の 吊りボルト支持及び補強	○							
鋼製簡易間仕切（既製品）の開口及び開口補強	○							
同　上　配管・ボックス取付け及び補強	○							
同　上　機器取付け・配線		○	○					
鋼製簡易間仕切壁の貫通及び補強	○							
同　上　位置出し、位置の指示		○	○					
屋内・屋外・屋上設置機器の基礎	○							
同　上　仕上げ　床補強	○							
同　上　アンカーボルトセット及び位置出し		○	○					
屋根防水箇所の配管等（ＰＳ立ち上り）	○							
同　上　配管施工後の穴埋	○	○	○					
同　上　仕上げ	○							
屋外型受水槽・キュービクル等の囲壁	○							
キュービクル保守架台	○							
機械室の防音・遮音	○							
機械室・電気室等の床の溝・桝・蓋	○							
厨房・浴室等の床の排水溝・桝・蓋	○							
同上　等の床の排水トラップ、グリストラップ			○					
電気室等床の配線ピット及び蓋	○							
機械室・電気室等床の防塵塗装	○							
防火水槽（ＲＣ造）（仕上げを含む）	○							
消火水槽（ＲＣ造）（仕上げを含む）	○							
同　上　オーバーフロー	○							

工事項目	建築	電気	機械	厨房	除害	コージェネ	土木	備考
外壁の換気ガラリ・排気ガラリ・壁面のリターンガラリ （ダクト接続用アングルピース共）	○							
同　上　取付け（コーキングを含む）	○							
同　上　ダクト接続工事			○					
雨水排水竪管（外部配管） （第一会所までの横引き管を含む）	○							
同　上　　（内部配管） （第一会所までの横引き管を含む）	○							
屋外排水管（雨水）　（雨水桝を含む）	○							
同　上　　（汚水）　（汚水桝を含む）			○					
同　上　　（雑排水）（雑排水桝を含む）			○					
玄関出入口の床排水マット下の排水桝 （仕上げを含む）	○							
同　上　排水金具　排水管及び接続	○							
床下ピット及び昇降機ピット（仕上げを含む）	○							
同　上　通気管・排水管・排水桝 （仕上げを含む）	○							
据え付け流し（既製品）（据え付けを含む）	○							
同　上　排水金物	○							
同　上　接続工事			○					
据え付け流し（特注品）・造り付け流し	○							
同　上　排水金物（オーバーフロー付・無）	○							
同　上　接続工事			○					
ユニットシャワー・ユニットバス等 （据え付けを含む）	○							
同　上　換気設備工事			○					
同　上　電気設備工事		○						
同　上　一次側電気配管・配線		○						
同　上　一次側との接続工事			○					
換気フード			○					
同　上　接続工事			○					
同　上　フード廻りに取付ける幕板			○					
消火器			○					
消火器ボックス	○							
化粧鏡（既製品）			○					
姿見鏡	○							
洗面化粧台・同化粧鏡	○							
洗面カウンター（穴あけ共）	○							
同　上　衛生機器（カラン共）			○					
同　上　接続工事			○					
同　上　排水金物			○					

工事項目	建築	電気	機械	厨房	除害	コージェネ	土木	備考
自動扉	○							
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　二次側電気配管・配線及び接続	○							
電動シャッター・電動スクリーン 及び電動ブラインド	○							
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　リモートスイッチの機器取付け ・電気配管・配線及び接続	○							
煙感知器連動の防火戸・防火防煙シャッター 及び防煙垂れ壁	○							
同　上　レリーズ		○						
同　上　動作用煙感知器及び電気配管 ・配線・接続		○						
同　上　動作表示及び電気配管・配線・接続		○						
同　上　制御盤		○						
同　上　制御盤の一次側電気配管・配線及び接続 （予備電源共）		○						
屋内消火栓箱総合盤（本体組込み型）			○					
同　上　盤組込みの発信機・表示灯及 及び起動押し釦		○						
同　上　開口補強	○							
ユニット形消火栓ポンプ・スプリンクラーポンプ ・自動給水装置等の付属型制御盤			○					
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
液面電極以外の水位制御器（フロースイッチ等）			○					
空調設備の制御盤			○					
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						（取付用穴あけ ：建築）
同　上　機器連動インターロック （火災発生時の空調停止を含む）			○					
同　上　遠方操作用機器			○					
同　上　遠方操作用機器の取付け			○					
同　上　遠方操作用電気配管・配線及び接続			○					
自動制御機器の計装盤			○					
同　上　一次側電気配管・配線及び接続 （電源供給）		○						
自動制御用電気配管・配線及び接続			○					
太陽光発電パネル		○						
同　上　架台・基礎	○							
同　上　動作表示及び電気配管・配線・接続		○						
同　上　制御盤		○						
同　上　制御盤の一次側電気配管・配線及び接続 （予備電源共）		○						
同　上　小型計測装置表示装置		○						

工事項目	建築	電気	機械	厨房	除害	コージェネ	土木	備考
空調機器の一次側電気配管・配線及び接続		○						
ファンコイルユニットのリモートスイッチの機器取付け ・電気配管・配線及び接続（但し機器は別途）			○					
セパレート型空調機の二次側電気配管 ・配線及び接続			○					
空調機器のドレン排水 （最寄り会所への接続を含む）			○					
エレベーター	○							
同　上　三方枠	○							
同　上　動力・電灯用一次側電気配管 ・配線及び接続		○						
同　上　保守点検用コンセント		○						
同　上　昇降路の仕上げ	○							
同　上　出入り口廻りの開口	○							
同　上　昇降路内の足場	○							
同　上　昇降路点検扉	○							
ブラインドボックス、ブラインド	○							
映写スクリーン（備品以外 図示のもの）		○						
身障者用手摺	○							
身障者用点字表示等	○							
身障者用衛生機器ライニング	○							
上水引込み　　（申請手続き共）			○					
交野市給水条例第36条1項に基づく給水分担金			○					共通費に 計上すること。
同　上　一次側電気配管・配線及び接続			○					
電気・電話の引き込みハンドホール		○						
電気・電話の引き込み柱		○						
舗装・整地等	○							
植栽・客土	○							
下水本管への接続（申請手続き共）					○			
外周擁壁工事					○			
外周擁壁上　フェンス工事	○							
里道自主後退部、水路改修工事					○			
表土飾取り					○			
南側・西側　歩道改修工事 （道路工事施行承認申請申請手続き共）	○							

工事項目	建築	電気	機械	厨房	除害	コージェネ	土木	備考
〈厨房設備関係〉								
厨房機器製造・搬入・据付・組立				○				
一次側電気工事		○						
厨房機器への電源接続工事		○						開閉器より厨房機器 への電気接続工事含む
予備コンセントの取付工事		○						設置位置は打合せ要 （詳細設計時）
一次側給排水・給湯・蒸気配管工事			○					
給排水・給湯・蒸気配管元バルブ・カラン 及び取付工事			○					
厨房機器への給排水・給湯・蒸気接続工事			○					
蒸気スチームトラップ及びチャッキ弁			○					
室内清掃用カラン及び水栓柱取付工事			○					設置位置は打合せ要 （詳細設計時）
床ピット・床ピット見切・グレーチング蓋 及び取付工事	○							
床ピットストレーナー（残菜カゴ）取付工事	○							
床ピット内、目皿及び排水トラップ取付工事			○					
厨房機器開口部ステンレス三方枠及び取付工事	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用室外機設置用　基礎工事	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用　床コンクリート工事 （仕上げ含む）	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用　冷媒配管、配線、 化粧カバー（貫通部処理を含む）				○				
連続フライヤー用渡り信号線		○						
連続フライヤーと新油・廃油タンクとの油用配管 及び接続工事			○					ステンレス配管
厨芥処理機用スラリー配管			○					
厨芥処理機用渡り信号線		○						
厨芥処理機用の機械吊込み鋼材及び取付工事	○							
現場に於ける厨房機器の試運転				○				
厨房機器の取扱説明書の作成、取扱説明				○				
〈除害設備設置関係〉								
処理槽本体工事					○			
処理槽土木工事					○			
機械室工事	○							
処理槽機器工事					○			
処理槽配管工事					○			
処理槽電気工事（二次側）					○			
流入管、放流管路工事				○				
臭突管立上工事				○				
一次側電気引込工事		○						
給水管工事（散水栓含）				○				
試運転調整					○			
〈コージェネレーション設備設置関係〉								
コージェネレーション本体、付属部品						○		
ボイラー室貯湯槽、冷温水発生機への 配管接続工事、循環ポンプ			○					
系統連係ユニット、システムコントローラー						○		
コージェネレーション本体と系統連係ユニット の配線接続工事		○						

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：工事区分表　縮尺：－　図面番号：J-002

除害施設　工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内　除害施設貯留槽設置工事

２．工事場所　交野市倉治９丁目2667、2676-4の一部、2687、2688、2688-2の一部、2689、2690-1の一部、2691-1の一部、2699-2、2699-6、2713-1、2714、2715

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
給食センター棟	鉄骨造	地上2階	3,627.32	2,462.30	12項イ　工場	
配送車庫棟	鉄骨造	地上1階	189.13	189.13	16項ロ　複合用途	
ガスガバナ棟	RC造	地上1階	22.44	22.44	12項イ　工場	
除害設備機械室棟	RC造	地上1階	59.19	59.19	12項イ　工場	
パイク置場・設備架台	鉄骨造	地上1階	100.79	78.91	12項イ　工場	

４．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	給食センター棟	配送車庫・備蓄倉庫棟	ガスガバナ棟	除害設備機械室棟	駐輪場他	屋外
・空気調和設備						
・換気設備						
・排煙設備						
・自動制御設備						
・衛生器具設備						
・給水設備						
・排水設備						
・給湯設備						
・消火設備						
・厨房機器設備						
・ガス設備						
・さく井設備						
・浄化槽設備						
⊙除害施設設備						○
⊙厨房排水処理設備						○
⊙ボイラー排水処理設備						○

５．指定部分　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

６．設備概要　（⊙印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	・空気調和　・全空気方式　・ファンコイルユニット，ダクト併用方式　・パッケージ方式
	・温風暖房　・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・直接暖房　・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御
給水方式	・水道直結方式　・高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（・分流式　・合流式）
	建物外の汚水及び雑排水（・分流式　・合流式）
	放流先　汚水（・下水道直放式　・浄化槽）
	雑排水（・下水道直放式　・浄化槽　・側溝　・別途桝）
給湯方式	・局所式　・中央式
消火設備方式	・屋内消火栓　（・湿式　・乾式）　・連結送水管　・屋外消火栓
	・スプリンクラー　（・湿式　・乾式）　・不活性ガス消火　・泡消化
	・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　ｋＪ／ｍ３（Ｎ）（供給圧力　Ｐａ）　・液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項　（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編　平成２５年版）」（以下「標準仕様書」という。）「建築工事標準詳細図」「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、機械設備工事編　平成２５年版）」（以下「標準図という。）」，及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築工事監理指針（平成２５年版）」「電気設備工事監理指針（平成２５年版）」，「機械設備工事監理指針（平成２５年版）」による。
なお，公共建築工事標準仕様書（建築工事編，電気設備工事編，機械設備工事編）に記載の、官公署その他への届出手続等を含む一般共通事項に必要となる費用の一切は請負者の負担とする。
（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項　（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①適用基準等	⊙　建築基準法、建築基準関係規定、その他令回工事に関連する法令、条例 ⊙　交野市開発指導要綱施行基準 ⊙　交野市火災予防条例
	②機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。 ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
	５．雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報に登録する。 受注時，変更時及び完成時に，あらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。なお，当該手続きに係わる費用は，請負者の負担とする。
	⑨事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ⊙　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　・　熱絶縁施工（保温工事） ・　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	12．足場等	・　別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	15．工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	⑯残土処理	・　構外搬出　※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所にたい積

章	項目	特記事項
一般共通事項	⑰発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ※　なし　・　あり（　　） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当 ※　なし　・　あり（　　） （３）引渡しを要するもの ※　なし　・　あり（　　） （４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※　なし　・　あり　（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・　コンクリート　（　　） ・　コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・　木　　材　（　　） ・　アスファルトコンクリート　（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・　コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・　木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　） 建設リサイクル法 ・　対象工事 落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・　対象外工事
	⑱総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途 総合調整の項目 ・　風量調整　・　水量調整　・　室内外空気の温湿度測定 ・　室内気流及びじんあいの測定　⊙　騒音の測定　⊙　初期運転状態の記録 ・　末端水栓の水質測定　⊙　除害施設放流水質の測定 ⊙　機器の絶縁抵抗の測定　・　水圧調整 測定箇所は，監督職員の指示による。
	⑲容量等の表示	（１）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳耐震措置	機器，配管等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。 注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 （２）本工事の施設は（・　一般の施設　⊙　特定の施設）とする。 （３）地域係数は１．０とする。 （４）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。 （５）重要機器類（高置タンク，受水タンクは機器表による。）
	㉑弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	㉒電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　１．１．１　電線類等表１．１．１電線類に次の種類を追加する。 （ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）
	23．溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・　冷温水　・　冷却水　・　消火（水用）　・　油　・　ガス 検査の種類　・　浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・　放射線浸透検査（ＲＴ）
	24．はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉕支持及び固定	（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は，標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。
	㉖支持金物・固定金具	（１）送風機、ポンプ等のアンカーボルトのナット及び屋外、槽内の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
	27．埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。 ・　根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・　山砂の類
	㉘地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設機の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 （１）空気管　⊙　地中埋設標　・　埋設用表示テープ （２）排気管　⊙　地中埋設標　・　埋設用表示テープ （３）薬注管　⊙　地中埋設標　・　埋設用表示テープ （４）電気配管　・　地中埋設標　⊙　埋設用表示テープ
	29．保温	・　主機械室は下記の室とし，他は各階機械室とする。 主機械室： ・　ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・　ロックウール　・　グラスウール） 屋内露出：倉庫・書庫　・　アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・　アルミガラスクロス　・ 主機械室　・　アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・　カラー亜鉛鉄板　・ 屋内隠ぺい，ＰＳ内　・　アルミガラスクロス 屋外露出，多湿箇所（　）　・　ステンレス鋼板 ・　配管の保温の外装は下記による。内装は（・　ロックウール　・　グラスウール　・　ポリスチレンフォーム） 屋内露出：倉庫・書庫　・　アルミガラスクロス　・ 各階機械室　・　アルミガラスクロス　・ 主機械室　・　アルミガラスクロス　・ 居室・廊下など　・　合成樹脂製カバー　・ 屋内隠ぺい，ＰＳ内　・　アルミガラスクロス 屋外露出，多湿箇所（　）　・　ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・　アスファルトプライマー　・
	㉚塗装	（１）下記部位に使用する，露出配管（鋼管）、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※　屋外露出　※　ポンプ室露出
	㉛防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
	㉜山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが１．５ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。

章	項目	特記事項
空気調和・冷房・暖房設備	33．舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。
	㉞他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
	35．予備品等	ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として，２０％納入する（種別ごと最低１個）。
	１．設計温湿度	調整目標値 夏期：温度(DB)　湿度(RH)　冬季：温度(DB)　湿度(RH) 外気　**　℃　**　%　**　℃　**　% 厨房以外の一般室　28　℃　**　%　20　℃　**　% 厨房内（和え物室を除く）　25　℃　**　%　20　℃　**　% 厨房内（和え物室）　18　℃　**　%　18　℃　**　%
	２．ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。
	３．煙突	※　別途　・　本工事（鋼板厚　㎜、高さ　ｍ以上）
	４．煙道	※　煙道径３００ｍｍ以下は鋼板厚３．２ｍｍ，３００ｍｍを超えるものは４．５ｍｍとする。（煙道径が４００ｍｍを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。） ・　図示による。
	５．ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
	６．長方形ダクトの工法	・　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）
	７．風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	８．チャンバ	（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 （２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びリターンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 （３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	９．防煙ダンパ	（１）復帰方式　※　遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） （２）復帰動作　※　順送り
	10．配管材料	（１）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （２）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （３）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （４）油管，油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※　ポリエチレン外面被覆鋼管 （５）膨張管，空気抜き管，膨張タンクよりボイラ等への給水管 ※　配管用炭素鋼鋼管　・ （６）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （７）冷媒管　※　断熱材被覆鋼管（製造者標準品）　・　銅管
	11．弁類	※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は，ステンレス製とする。
	12．鋼管用伸縮管継手	※　ベローズ形　・　スリーブ形
	13．温度計	※　共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用は七形，ダクト用は円形） ・　空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト ・　冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・　パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
	14．瞬間流量計	※　着脱可能形（※　全数　・　図示による） 着脱可能形の場合，その指示部（・４０Ａ用　個　・１００Ａ用　個　・２５０Ａ用　個）を付属する。 ・　固定形（止水コック付）　・　測定用タッピング（３２ｍｍビトー管流量計用）
	15．オイルタンク	（１）オイルタンク本体は図示による。 （２）遠隔油用指示計　※　取付ける　・　取付けない （３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，１００リットル実測目盛刻印とする。 計量口は図示とする。
	16．積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
	17．注油口及び指示ボックス	標準図（機材　６　）による。 ・　単独形　・　共用形（　・　ローリーアース付）
	18．消音内貼り	（１）施工箇所は図示による。 （２）内貼りチャンバー類の寸法表示は，外形寸法とする。 （３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
	19．保温	（１）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。 （２）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。 （３）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温 ※　要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・　不要 （４）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む） （５）冷媒管（断熱材被覆鋼管）の保温外装 屋内露出部　・　保温化粧ケース（樹脂製）　外装なし　・ 屋外　・　保温化粧ケース（樹脂製）　・ （６）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　　ｍｍとする。
	20．電気工事の範囲	（１）地震感知器の配管配線　※　別途　・　本工事 （２）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※　別途　・　本工事
	21．塗装	（１）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は　※　行わない　・　行う （２）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※　行わない　・　行う
換気設備	１．準拠事項	［　空気調和　・　冷房　・　暖房設備　］の当該事項に準ずる。 ・５　・６　・７　・９　・１８　・２１
	２．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄ	※　別途　・　本工事
	３．厨房用排気ダクト	※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	４．厨房用排気ダクト工法	※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	５．厨房用排気フード	（１）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・　取り付けない （２）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない （３）材質（天幕とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）　・　亜鉛鉄板
	６．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ	次の系統のダクトのシールは，標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。 （　）

章	項目	特記事項
排煙設備	１．ダクト	・　亜鉛鉄板製　・　鋼板製（１．６ｍｍ以上）
	２．排煙口の形式	・　可動羽根（スリット共）　・　可動パネル
	３．排煙口解放装置	・　ワイヤー式　・　電気式（遠隔操作機能　・　要　・　不要）
	４．排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	１．中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	２．計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は，図示に特記がなければケーブル配線とする。
衛生器具設備	１．大便器洗浄弁	・　洗浄タンク方式　・　洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	２．便器洗浄用タンク	※　手洗なし　・　手洗付
	３．小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（　・　小便器一体型　・　小便器分離型）
	４．器具付属水栓	固定こま式（節水こま式）とする。
	５．自動水栓	※　電源供給方式（　※　ＡＣ１００Ｖ）　・　乾電池　・自己給電
	６．温水洗浄便座加熱方式	・　瞬間式　・　貯湯式
	７．大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）
給水設備	１．量水器	（１）親メーター　※　指用　・　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無） （２）子メーター　※　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）
	２．量水器桝	（１）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５３） （２）子メーター用　※　標準図（機材５３）　・　水道事業者の指定品
	３．配管材料	（１）一般用　（３）屋外土中用 ・　ステンレス鋼管（拡管）　・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管） ・　塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ）　・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ）　・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・　・　ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ） ・　〃　（ＨＩＶＰ） （２）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）　・　ポリエチレン管 ・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・　水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管 ・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ）　・ ・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・
	４．不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・　合成樹脂製　）
	５．弁類	（１）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・　水道事業所の規定による　Ｋ （２）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は，ステンレス製とする。
	６．給水栓	（１）屋内（　※　一般水栓　・　耐寒水栓　）　（２）屋外（　※　耐寒水栓　・　一般水栓　） 湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫とする。　断寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	７．埋設深さ	（１）一般敷地内（　　ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　　ｍ以上） （３）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）
	８．保温	（１）量水器桝内の保温を行う。 （２）屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ，呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。
	９．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
	10．水道加入金等	水道加入金　・　要（　・　本工事　・　別途　）　・　不要 ・　その他（　　）
	11．ステンレス管の接合方法	（１）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （２）呼び径７５Ｓ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
	12．その他	給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし，器具接続部分を除く。
排水設備	１．配管材料	（１）屋内汚水管　（２）屋内雑排水管 ・　排水用塩ビライニング鋼管　・　配管用炭素鋼鋼管（白） ・　排水用鉛管　・　排水用塩ビライニング鋼管 ・　・ （３）屋外土中汚水，雑排水管　（４）土間配管用 ・　ビニル管（ＶＰ）　・　排水用塩ビライニング鋼管 ・　ビニル管（ＶＵ）　・ ・　ビニル管（再生ＶＵ） ・ （５）通気管　（６）ポンプアップ排水管 ・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） ・　ビニル管（ＶＰ）　・ ・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は，ビニル管でもよい。
	２．排水桝	・　桝リストは図面番号（　　） （１）材料　・ＲＣ　・硬質塩化ビニル　・ポリプロピレン　・ＳＣ （２）ふた　・鋳鉄製（　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ　） ・樹脂製 ※県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＵＳチェーン付
	３．グリース阻集器	（３）規格　・下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ） ・　市町村別基準（　・有　・無　） ・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	４．満水試験継手	図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。
	５．試験	・　衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。 ・　衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	６．放流負担金等	・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
	７．基礎材	※　再生クラッシャーラン

記事	検印	担当印

業務名称	交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	工事名称	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	設計年月	2014/03
株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称	除害施設貯留槽設置工事　特記仕様書（１）	縮尺	—
				図面番号	J-003

章	項目	特記事項
給湯設備	1．配管材料	・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（ＳＵＳ３０４拡管） ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管 ＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む＞
	2．弁 類	給水設備の当該事項による。
	3．潜熱回収型給湯器の排気筒	厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
	4．保 温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（h・(ｲ)・X）
	5．ステンレス管の接合方法	（1）呼び径６０ＳＵ以下 ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５ＳＵ以上 ・溶接接合 ・ハウジング形管継手による接合 ・フランジ接合
消火設備	1．配管材料	（1）一 般 （2）地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） ・ 〃 （ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 〃 （ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ 〃 （ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） （3）二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	2．屋内消火栓種別	・ 易操作性１号消火栓 ・ ２号消火栓
	3．消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ ・ ＪＩＳ２０Ｋ
	4．保 温	（1）屋外露出管については給水管に準ずる。 （2）充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する （3）消火配管の保温 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する
	5．消火器類	（1）消火器 種別 ・ 数量 （ ） （2）消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量（ ）
厨房機器設備	1．厨房機器類	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内厨房機器工事図面を参照すること。
ガス設備	1．配管材料	（1）一般 （2）地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス事業者の規定による ・ ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ・
	2．都市ガス	（1）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 （2）引込み負担金 ・ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）
	3．液化石油ガス	（1）ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り （ ・１０ｋｇ ・２０ｋｇ ・５０ｋｇ 本 ） （2）ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 （3）集合装置 ・ 標準図（施工７１）による（ 本組） （4）転倒防止等 ・ 標準図（施工７２） [・(ａ) ・(ｂ)] ・ ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・ 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	4．ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける （ ・ 分離形 ・ 一体形 ） ・ 別途電気工事 外部出力端子 （ ・ あり ・ なし ）
	5．埋設深さ	（1）一般敷地内（ m以上） （2）敷地内車両道路（ m以上） （3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	6．その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名（ ）

表１「完成書類」 引き渡し時には下記の書類を提出する（ＰＤＦファイル共）。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	完成引渡書類一式 （書式については監督職員と協議すること）	1部	7 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場据付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	A４版：チューブ式ファイル	1部
2 完成図	二つ折り青焼き製本（Ａ１） ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）	1部 1組			1部
3 完成原図	三つ折りケース収納	2部	8 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	A４版：チューブ式ファイル （８と合本可）	
4 完成図(縮小)	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は管理担当保管				
5 完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD 1枚	9 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	A４版：チューブ式ファイル	1部
6 施工図	白焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り 建築: 躯体図、建具図、鉄骨図、 平面詳細図、板金図 その他仕上げユニット製作物等 機械、電気、その他： 各工事詳細図 平面詳細図、 その他仕上げユニット製作物等 屋外埋設管について 総合図を作成すること。	1部	１０ 工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A４版：チューブ式ファイル （着手前、施工状況、完成の各写真） A４版：黒表紙金文字アルバム	1部
			１１ 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	A４版：チューブ式ファイル	1部

取扱説明会の実施
完成時に当該工事にて設置する設備の概要・原理・保守に関する詳細な説明会及び現地講習会を実施すること。

※機器メーカー表

機器	機器メーカー
厨房排水処理施設	㈱ダイキアクシス 大栄産業㈱ ㈱エスエル
ﾎﾞｲﾗｰ排水処理施設	㈱ダイキアクシス 大栄産業㈱ ㈱エスエル

営繕保温仕様（管類については○印を塗りつぶしたものを適用する）

受水槽設備

※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省及びBL仕様）による。

浄化槽設備

※浄化槽仕様書による。

給排水衛生設備（管類）

施工箇所	保温種別	給水管	排水管	消火管	給湯管	ガス管
屋内露出	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．原紙 4．綿布 5．目止め 6．調合ペイント					
機械室・倉庫	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．原紙 4．アルミガラスクロス					
天井内・PS内・空隙壁中	1．アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 2．アルミガラスクロス貼着テープ					
床下・暗渠内	1．ポリスチレンフォーム保温筒 2．貼着テープ 3．ポリエチレンフィルム 4．着色アルミガラスクロス					
床下・暗渠内・ｺﾝｸﾘｰﾄ内	1．グラスウール保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．着色アルミガラスクロス					
屋外露出・多湿箇所	1．グラスウール保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板					
屋外露出・多湿箇所	1．ポリスチレンフォーム保温筒 2．貼着テープ 3．ポリエチレンフィルム 4．・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板					
黒管塗装	1．錆止めペイント 2．調合ペイント（２回）					
白管塗装	1．エッチングプライマー 2．錆止めペイント（１回） 3．調合ペイント（２回）					

空調設備工事（冷温水）管

施工箇所	保温種別	温水管	冷水管	冷温水管	蒸気管	冷媒管	ドレン管
屋内露出	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．原紙 5．綿布						
屋内露出	1．被覆銅管の断熱材 2．化粧カバー						
機械室・倉庫	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．原紙 5．アルミガラスクロス						
天井内・PS内・空隙壁中	1．アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 2．アルミガラスクロス貼着テープ						
床下・暗渠内・ｺﾝｸﾘｰﾄ内	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．着色アルミガラスクロス						
屋外露出・多湿箇所	1．グラスウール 保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板						
屋外露出・多湿箇所	1．被覆銅管の断熱材 2．化粧カバー						

一般風道

区分	屋内露出 機械室・書庫・倉庫	屋内露出 居室・廊下	屋内隠ぺい	屋外露出 多湿箇所
矩形風道	1．鋲 2．アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 3．アルミガラスクロス貼着テープ	1．鋲 2．グラスウール保温板 3．着色亜鉛鉄板	1．鋲 2．アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 3．アルミガラスクロス貼着テープ	1．鋲 2．グラスウール保温板 3．ポリエチレンフィルム 4．鉄線 5．ステンレス鋼板
円形風道（スパイラルダクト）	1．アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 2．アルミガラスクロス貼着テープ	1．グラスウール保温筒 2．鉄線 3．着色亜鉛鉄板	1．アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 2．アルミガラスクロス貼着テープ	1．グラスウール保温筒 2．鉄線 3．ポリエチレンフィルム 4．鉄線 5．ステンレス鋼板

排煙風道

区分	保温種別
矩形	屋内隠ぺい 1．鋲 2．アルミガラスクロス化粧ロックウール保温帯 3．アルミガラスクロス貼着テープ 4．きっ甲金網（鉄）
円形	屋内隠ぺい 1．アルミガラスクロス化粧ロックウール保温帯 2．アルミガラスクロス貼着テープ 3．きっ甲金網（鉄）
煙道	1．ロックウールブランケット 2．鉄線 3．着色亜鉛鉄板

・ ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒及びﾛｯｸｳｰﾙ保温筒又は、保温板の使用が困難な箇所は、ﾛｯｸｳｰﾙﾌｪﾙﾄを使用してもよい。
・ ストレーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とすること。
・ ＯＡダクトが室内空調空間を経由する場合は保温すること。
・ 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。
・ 蒸気管、温水管、給湯管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。
・ 全熱交換器の一次側ＯＡ、ＥＡダクトは保温工事を施すこと。
※ 支持金物に鋼製の金物を使用した場合はゴム製又は樹脂製の絶縁テープ等を介して取り付ける。但し、樹脂管は除く。

建設副産物の処理について

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。
また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物 （原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト塊） ・木くず ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石綿等
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。

・廃PCB等
「電気事業法：電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容（○印塗りつぶしたものを適用する。）

処理内容		備考	処理内容		備考
現場内における分別	●		「建設副産物の処置計画届」の作成	●	
現場内分別保管場所の設置	●		「建設副産物の処理結果報告書」の作成	●	
現場内分別保管場所までの運搬	●		「再生資源利用計画書」の作成	○	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	●		「再生資源利用実施書」の作成	○	

図１－１ 配管埋設参考 埋設深さH
1 300以上
2 600以上

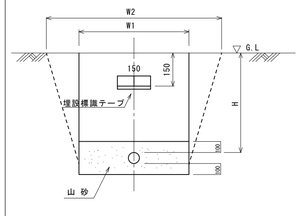


図１－２ 水槽類埋設参考

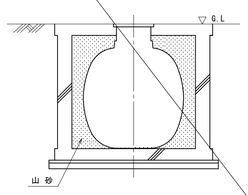
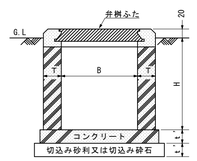
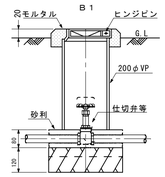


図２ 弁 桝

VC－1～VC－5



VC－P



記号	井の呼び径	B	B	T	t'	t"	ふた
ＶＣ－Ｐ	25 以下	200φ	——	——	——	——	Ｂ１
ＶＣ－１	40 以下	180x180	550	75	75	75	Ｂ１
ＶＣ－２			850	100	100	100	
ＶＣ－３	50～ 80	300x300	700	100	100	120	MHA-P300
ＶＣ－４			900				
ＶＣ－５	100～200	450x450	1．200	120	120	120	MHA-P450

注（イ）本表のB及びH寸法は、5K仕切弁を対象とする。
（ロ）コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。
なおコンクリート部は工場製品でもよい。
（ハ）桝底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。

図３－１ ドロップ桝参考図
（※副管サイズは主管サイズより１サイズ下でも可。）

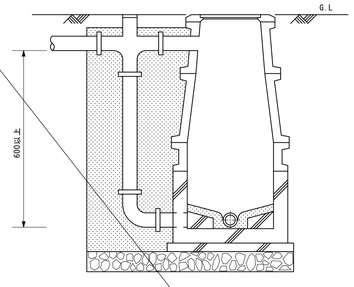


図３－２ 小口径桝取付要領図

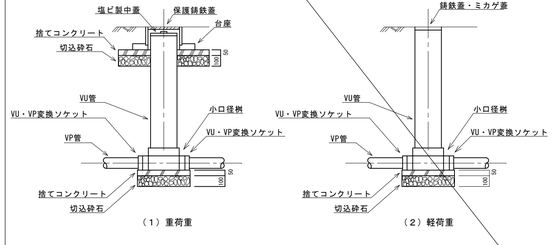
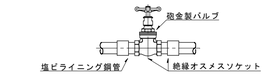


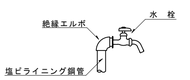
図４ 異種金属接続部

異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。
使用箇所例を下記に示す。

１．砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（屋内の砲金製バルブはコアなしとする。）

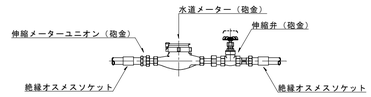


２．衛生器具（水栓類等）接続管と塩ビライニング鋼管接続部



３．マイクロエアベンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部
絶縁エルボ又は絶縁オスメスソケットを使用すること。

４．水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部



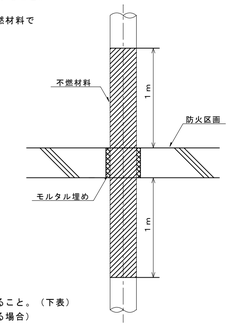
５．水抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部

６．上記以外の異種金属接続部

図５ 防火区画等貫通部措置

給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第１２９条の２の５第１項第７号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

１．防火区画等の貫通部分及び周側１ｍ以内を不燃材料で造ること。（参考図）



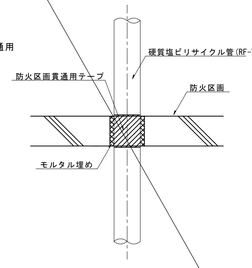
２．平成１２年建設省告示第１４２２号に適合すること。（下表）
（難燃材料又は硬質塩化ビニル管(VP)を用いる場合）

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径 防火構造	３０分耐火構造	１時間耐火構造	２時間耐火構造
給水管		5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	4．1mm以上	61mm	61mm	61mm	61mm
		5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	61mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	90mm	61mm
	厚さ0．5mm以上の鉄板の覆い有り	5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
		7．0mm以上	141mm	141mm	115mm	90mm

３．国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例１）硬質塩ビリサイクル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合（参考図）

例２）耐火二層管を認定条件に従って施工する場合
（立管はすべて耐火二層管とし、横管は立管の分岐から１ｍまでを耐火二層管とし、その延長部分を硬質塩化ビニル管とした場合など）



記事	検印	担当印

業務名称	交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	工事名称	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事
			設計年月 2014/03
株式会社 綜企画設計 一級建築士（大臣） 第３０５６１２号 北田 久晴	印 ・ ・	図面名称	除害施設貯留槽設置工事 特記仕様書（２）
		縮尺	—
		図面番号	J-004

厨房排水処理設備　特記仕様書

１．設備概要

本設備は当該施設より排出される排水の生物処理を行い、BOD・N-ﾍｷの除去を行った後、

下水道へ放流する為の排水処理設備である。

２．設計条件

（１）計画排水量　　＊排水時間：６時間

区　　分	日間（m³／日）	時間（m³／時）	分（m³／分）
日最大汚水量	１４１．１	５．９０	０．０９８
時間最大汚水量	－	３５．２８	０．５８８
移行汚水量	－	５．９０	０．０９８

（２）排水の種類　　厨房排水

（３）処理方式　　生物流動床処理方式

（４）流入水質・処理水質

区　　分	流入水水質	下水道規制値	保証性能
ＢＯＤ	８０６mg/L	６００mg/L未満	300mg／L未満
ＳＳ	６１２mg/L	６００mg/L未満	300mg／L未満
Ｔ－Ｎ	－　mg/L	２４０mg/L未満	
Ｔ－Ｐ	－　mg/L	３２mg/L未満	
Ｎ-ﾍｷ	１５４mg/L	１０mg/L以下	10mg／L以下
ｐＨ	５．８～８．６	５を越え９未満	

（５）上部荷重　　Ｔ－２５

（６）配管材質

使　用　区　分	名　　称	規格番号	種類の記号
圧送配管	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
自然流下	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
空気（露出）	配管用炭素鋼鋼管	ＪＩＳ　Ｇ　３４５２	ＳＧＰ（白）
空気（土中・槽内横引）	耐熱性硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７７６	ＨＴＶＰ
空気（槽内立管）	配管用ステンレス鋼鋼管	ＪＩＳ　Ｇ　３４５９	ＳＵＳ
排気管（土中）	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
排気管（槽内・露出）	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＵ
薬注配管（保護管ＦＥＰ）	ブレードホース	—	—

・ボルトナット類はSUS304、支持金物は槽内：SUS304製、槽外：SS＋Znとする。

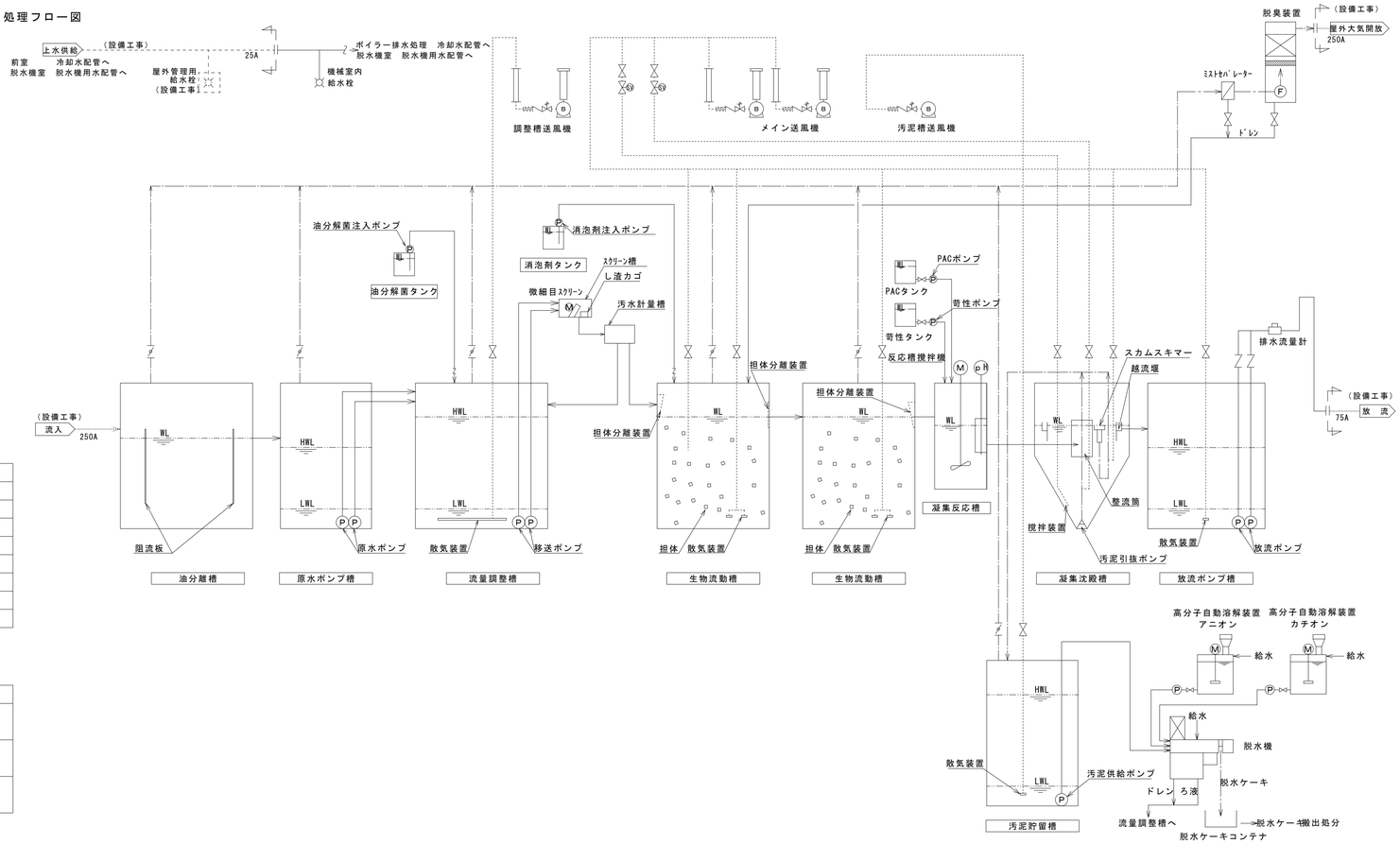
（８）電線材質

使　用　区　分	名　　称	規格番号	種類の記号
低圧動力用	600Ｖ架橋ポリエチレン絶縁 ポリエチレンシースケーブル	ＪＩＳ　Ｃ　３６０５	ＥＭ－ＣＥ
制御用	制御用ポリエチレン絶縁 ポリエチレンシースケーブル	ＪＩＳ　Ｃ　３４０１	ＥＭ－ＣＥＥ
絶縁用	600Ｖポリエチレン絶縁電線	ＪＩＳ　Ｃ　３６１２	ＥＭ－ＩＥ

３．機器リスト

番　号	名　　称	機　器　仕　様	電気特性		台　数	備　　考
			動力(kW)	相･電圧		
１	メイン送風機	ルーツ式　ＦＣ製　１００Ａ×５．５７m3／分×４１ｋＰａ	７．５	３-２００	２	ＣＶ・ＦＪ・吐出サイレンサー・防振架台共
２	調整槽送風機	ルーツ式　ＦＣ製　６５Ａ×２．６７m3／分×４２ｋＰａ	３．７	３-２００	１	ＣＶ・ＦＪ・吐出サイレンサー・防振架台共
３	原水ポンプ	汚物用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(4極)　ＦＣ　６５Ａ×０．５９m3／分×４．８ｍ	１．５	３-２００	２	着脱装置付き、高温水６０℃対応
４	移送ポンプ	汚物用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(4極)　ＦＣ　５０Ａ×０．１０m3／分×４．８ｍ	０．４	３-２００	２	着脱装置付き
５	放流ポンプ	汚物用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(2極)　ＳＵＳ／樹脂　６５Ａ×０．２９m3／分×５．８ｍ	１．５	３-２００	２	着脱装置付き
６	微細目スクリーン	自動掻上式　２３．０m3／時（ＭＡＸ）　目幅２．０ｍｍ	０．０２５	３-２００	１	
７	油分解菌注入ポンプ	ダイヤフラム式　ＭＡＸ３０ｍＬ／分	０．０１５	１-２００	１	
８	油分解菌タンク	ＰＥ製　３０Ｌ	—	—	１	
９	消泡剤注入ポンプ	ダイヤフラム式　ＭＡＸ３０ｍＬ／分	０．０１５	１-２００	１	
10	消泡剤タンク	ＰＥ製　２００Ｌ	—	—	１	
11	脱臭装置	活性炭カートリッジ方式　耐蝕脱臭ファン内蔵：２０m3／分×７００Ｐａ	０．７５	３-２００	１	ミストセパレータ
12	特殊担体	立体網状中空担体	—	—	１式	
13	排水流量計	電磁流量計　８０Ａ　現場表示型	—	—	１	
14	反応槽攪拌機	立型　９０ｒｐｍ　シャフト・パドルＳＵＳ３０４	０．７５	３-２００	１	
15	ＰＡＣポンプ	ダイヤフラム式　ＭＡＸ１００ｍＬ／分	０．０１８	１-２００	１	
16	ＰＡＣタンク	ＰＥ製　２０００Ｌ　液面計・梯子付　ローリー受口配管付	—	—	１	
17	苛性ソーダポンプ	ダイヤフラム式　ＭＡＸ１００ｍＬ／分	０．０１８	１-２００	１	
18	苛性ソーダタンク	ＰＥ製　２０００Ｌ　液面計・梯子付　ローリー受口配管付	—	—	１	
19	ｐＨ計	ガラス電極式　測定範囲ｐＨ０～１４	—	—	１	
20	脱水機	多重板型スクリュープレス式　処理能力9.0kg-DS/時以上	１．０	３-２００	１	クッションタンク・反応槽・操作盤付き
21	高分子自動溶解装置	材質：樹脂製　溶解能力85L/時以上	０．２２５	３-２００	２	
22	高分子注入ポンプ	ダイヤフラム式　ＭＡＸ１８００ｍＬ／分	０．２	３-２００	２	
23	汚泥供給ポンプ	汚物用水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(2極)　ＦＣ　５０Ａ×０．０５m3／分×８．０ｍ	０．４	３-２００	１	着脱装置付き
24	汚泥槽送風機	ルーツ式　ＦＣ製　３２Ａ×０．５０m3／分×４１ｋＰａ	１．５	３-２００	１	ＣＶ・ＦＪ・防振架台共

４．処理フロー図



５．工事区分

工　事　項　目	区　　分				備　　考
	排水処理	設　備	電　気	建　築	
躯体工事				○	
槽内無筋コンクリート				○	
槽内防食工事				○	
箱抜き工事				○	鉄筋切断、補強筋共
配管用スリーブ工事				○	
電気配管用スリーブ工事				○	
点検蓋				○	
機械室工事				○	防音対策共
機械基礎工事				○	
水張工事（用水手配）				○	
水張工事				○	
機器設備据付工事	○				
配管設備工事	○				排水処理施設に関る配管
流入管工事		○			
放流管工事		○			図示以降衛生工事
臭気配管工事（処理槽～脱臭装置）	○				
臭気配管工事（脱臭装置～排気口）		○			ドレン排水管共
二次側電気工事	○				
一次側電気工事			○		制御盤内一次側接続端子まで
外部警報			○		
給水工事		○			機械室内引込、管理用水栓
機械室換気設備工事		○			消音ダクト共
機械室電灯工事			○		
試運転調整	○				

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：厨房排水処理設備　特記仕様書　縮尺：—	図面番号：J-005

ボイラー排水処理設備　特記仕様書

１．設備概要

本設備は当該施設より排出されるボイラー排水の希釈冷却、中和処理を行い、

下水道へ放流する為の排水処理設備である。

２．設計条件

（１）計画排水量

日最大排水量には、冷却水量を含む。　　＊排水時間：２４時間

区　　分	日間（ｍ³／日）	時間（ｍ³／時）	分（ｍ³／分）
日最大汚水量	２３．１	０．９６３	０．０１７
移行汚水量	－	３．００	０．０５０

（２）排水の種類　　ボイラー排水

（３）処理方式　　希釈冷却＋炭酸ガス連続中和方式

（４）流入水質・処理水質

区　　分	流入水水質	下水道規制値
ｐＨ	１１～１２	５を越え９未満
水温	１００℃以下	４５℃未満

流入水温は、ボイラー排水を示す。

（５）上部荷重　　Ｔ－２５

（６）配管材質

使　用　区　分	名　　称	規格番号	種類の記号
圧送配管	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
圧送配管（原水槽）	耐熱性硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７７６	ＨＴＶＰ
自然流下	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
自然流下（原水槽）	耐熱性硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７７６	ＨＴＶＰ
空気（露出）	配管用炭素鋼鋼管	ＪＩＳ　Ｇ　３４５２	ＳＧＰ（白）
空気（土中・槽内横引）	耐熱性硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７７６	ＨＴＶＰ
空気（槽内立管）	配管用ステンレス鋼鋼管	ＪＩＳ　Ｇ　３４５９	ＳＵＳ
排気管（土中）	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
排気管（槽内・露出）	硬質塩化ビニル管	ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＵ
薬注配管（保護管ＦＥＰ）	ブレードホース	—	—

・ボルトナット類はSUS304、支持金物は槽内：SUS304製、槽外：SS＋Znとする。

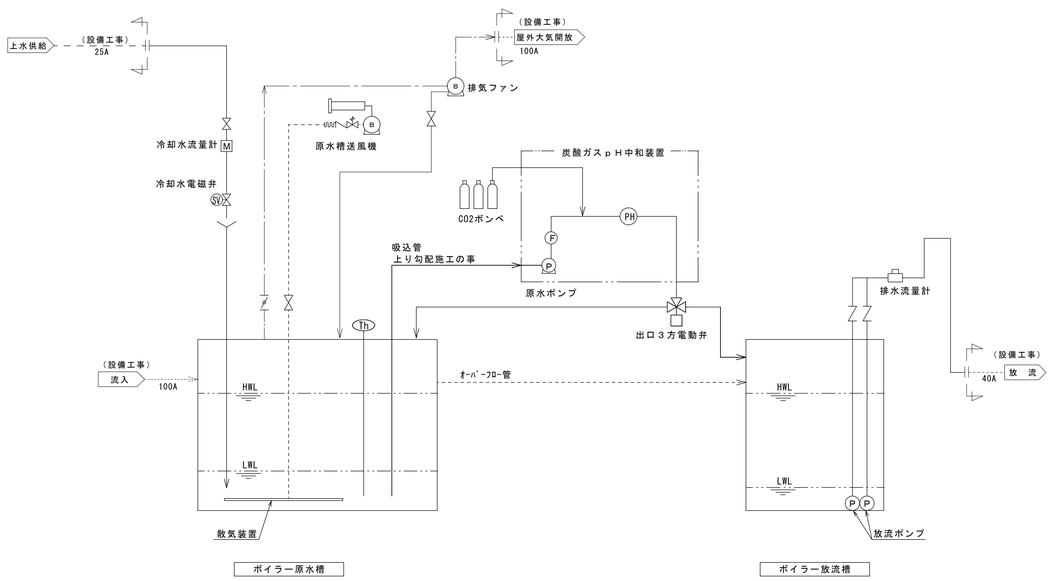
（８）電線材質

使　用　区　分	名　　称	規格番号	種類の記号
低圧動力用	600Ｖ架橋ポリエチレン絶縁 ポリエチレンシースケーブル	ＪＩＳ　Ｃ　３６０５	ＥＭ－ＣＥ
制御用	制御用ポリエチレン絶縁 ポリエチレンシースケーブル	ＪＩＳ　Ｃ　３４０１	ＥＭ－ＣＥＥ
絶縁用	600Ｖポリエチレン絶縁電線	ＪＩＳ　Ｃ　３６１２	ＥＭ－ＩＥ

３．機器リスト

番　号	名　　称	機　器　仕　様	電気特性		台　数	備　　考
			動力(kW)	相･電圧		
１	原水槽送風機	ルーツ式　ＦＣ製　２５Ａ×０．３９ｍ3／分×２２ｋＰａ	０．７５	3-２００	１	ＣＶ・ＦＪ・防振ゴム
２	炭酸ガス中和装置	３．０ｍ3／時　原水ポンプ内蔵　ボンベ３本立集合装置、冷却水電磁弁	０．７５	3-２００	１	測温抵抗体、原水槽レベル計、出口３方電動弁
３	放流ポンプ	汚水用水中ﾓｰﾀｰ(2極)　ＦＣ　４０Ａ×０．０５ｍ3／分×６．０ｍ	０．２５	3-２００	２	着脱装置付き、高温水６０℃対応
４	排気ファン	耐蝕シロッコファン：１．０ｍ3／分×１６０Ｐａ	０．２	3-２００	１	防振継手・防振ゴム
５	冷却水流量計	量水器　２５Ａ	—	—	１	
６	排水流量計	電磁流量計　４０Ａ　現場表示型	—	—	１	

４．処理フロー図



５．工事区分

工　事　項　目	区　分				備　考
	排水処理	設　備	電　気	建　築	
躯体工事				○	
槽内無筋コンクリート				○	
槽内防食工事				○	
箱抜き工事				○	鉄筋切断、補強筋共
配管用スリーブ工事				○	
電気配管用スリーブ工事				○	
点検蓋				○	
機械室工事				○	防音対策共
機械基礎工事				○	
水張工事（用水手配）				○	
水張工事				○	
機器設備据付工事	○				
配管設備工事	○				排水処理施設に関る配管
流入管工事		○			
放流管工事		○			図示以降衛生工事
排気配管工事（処理槽～排気ファン）	○				
排気配管工事（排気ファン～排気口）		○			ドレン排水管共
二次側電気工事	○				
一次側電気工事			○		制御盤内一次側接続端子まで
外部警報			○		
給水工事		○			機械室内引込、管理用水栓
機械室換気設備工事		○			消音ダクト共
機械室電灯工事			○		
試運転調整	○				

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：ボイラー排水処理設備　特記仕様書　縮尺：－　図面番号：J-006

AX5 7,180 AX6 8,000 AX7 6,800 AX8 3,700 AX5 310

除害処理機械室

30HT
25HT
20HT
100HT

脱水機室

前室

250dP

50VU

ボイラー排水流入

25HT
40HT
40VP
40HT
40VP
40VP
40VP
40VP

75VP

ボイラー排水放流

50VU
20HT
25HT
50VP
30HT
100VP

厨房除害処理施設
（地中埋設）

厨房排水
流入

75VP
75VP
150VP
厨房排水放流

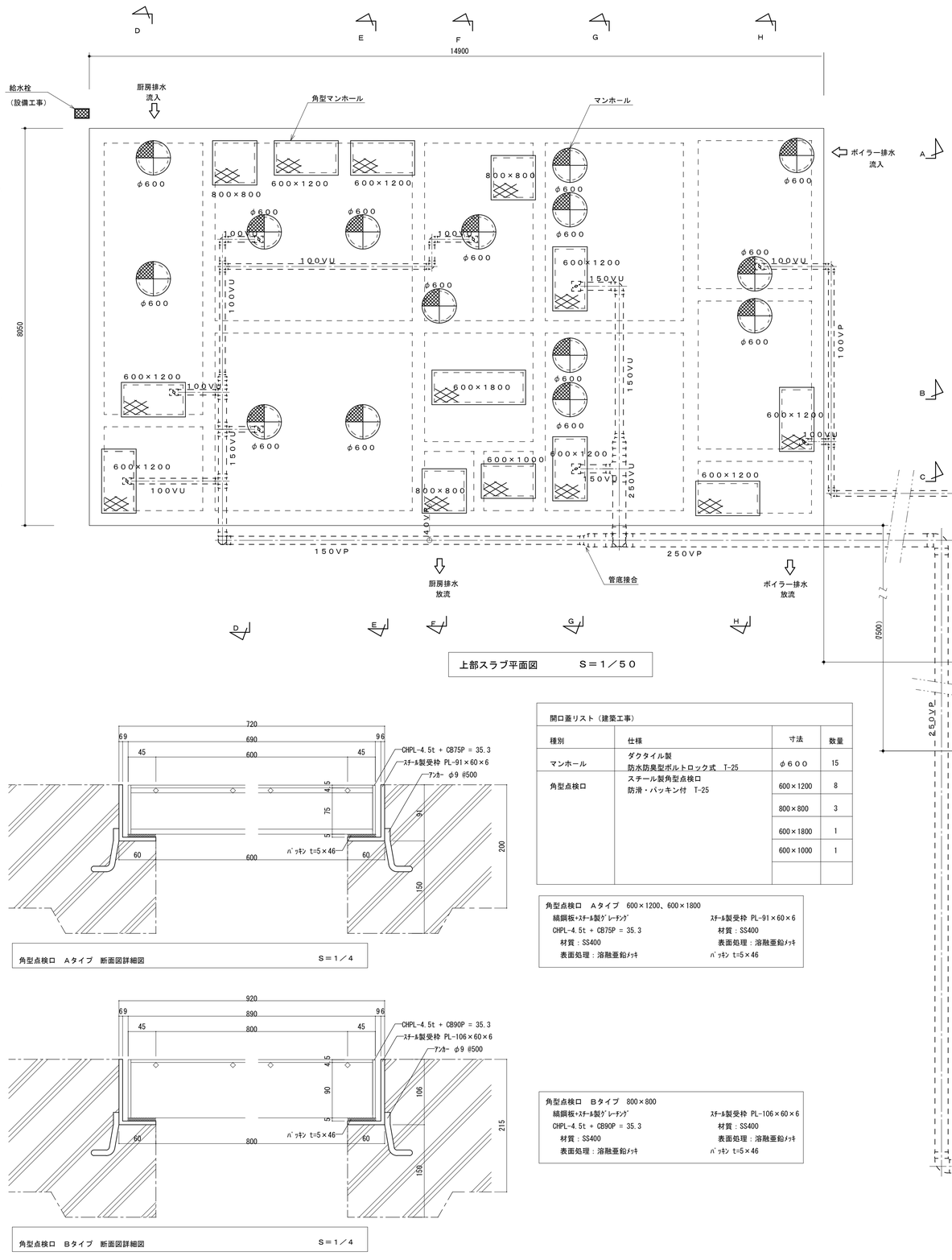
50VU
50VU
50VU
50VU
50VU
50VU

＊埋設配管ルートは現地打合せとする。

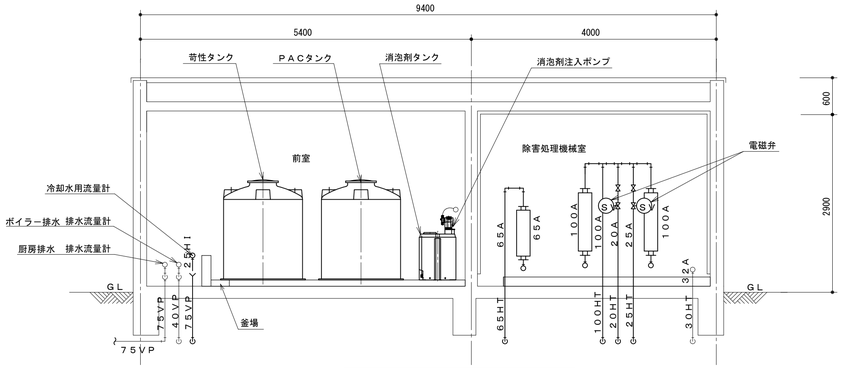
N

310
AY11
5,200
AY10
7,300
AY9
5,190
AY8
2,000
AY7
5,190
AY6
310

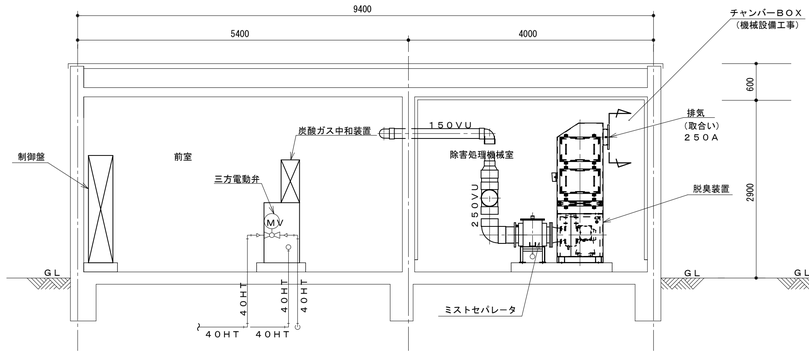
記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称 配置図 / 縮尺 1/100 / 図面番号 J-007



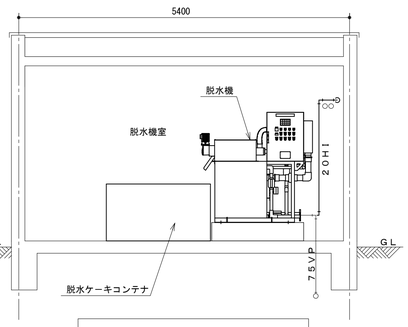
上部スラブ平面図　　S＝1／50



Ｉ－Ｉ　断面図　　S＝1／50



Ｊ－Ｊ　断面図　　S＝1／50



Ｋ－Ｋ　断面図　　S＝1／50

角型点検口　Ａタイプ　断面図詳細図　　S＝1／4

角型点検口　Ｂタイプ　断面図詳細図　　S＝1／4

開口蓋リスト（建築工事）

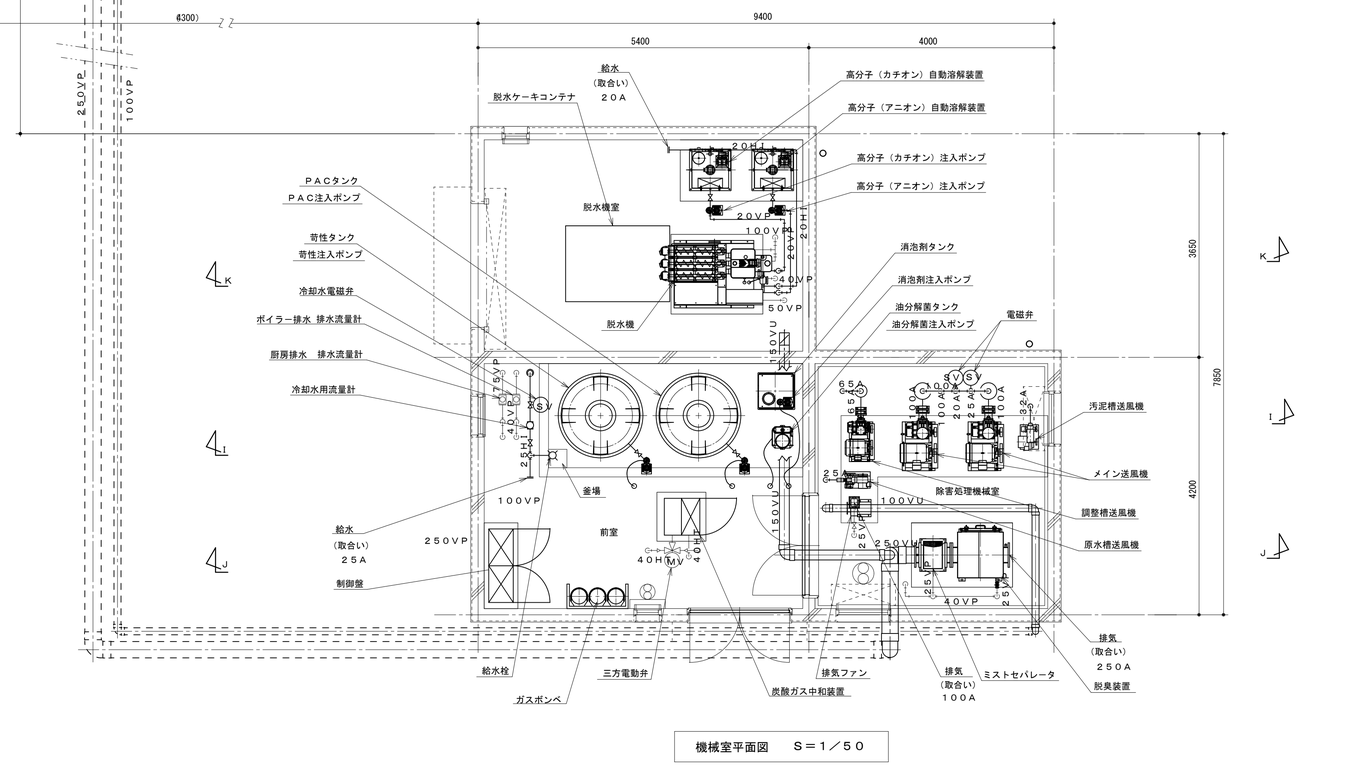
種別	仕様	寸法	数量
マンホール	ダクタイル製 防水防臭型ボルトロック式　T-25	φ６００	15
角型点検口	スチール製角型点検口 防滑・パッキン付　T-25	600×1200	8
		800×800	3
		600×1800	1
		600×1000	1

角型点検口　Ａタイプ　600×1200、600×1800

縞鋼板+ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｽﾁｰﾙ製受枠 PL-91×60×6
CHPL-4.5t + CB75P = 35.3	材質：SS400
材質：SS400	表面処理：溶融亜鉛ﾒｯｷ
表面処理：溶融亜鉛ﾒｯｷ	ﾊﾟｯｷﾝ t=5×46

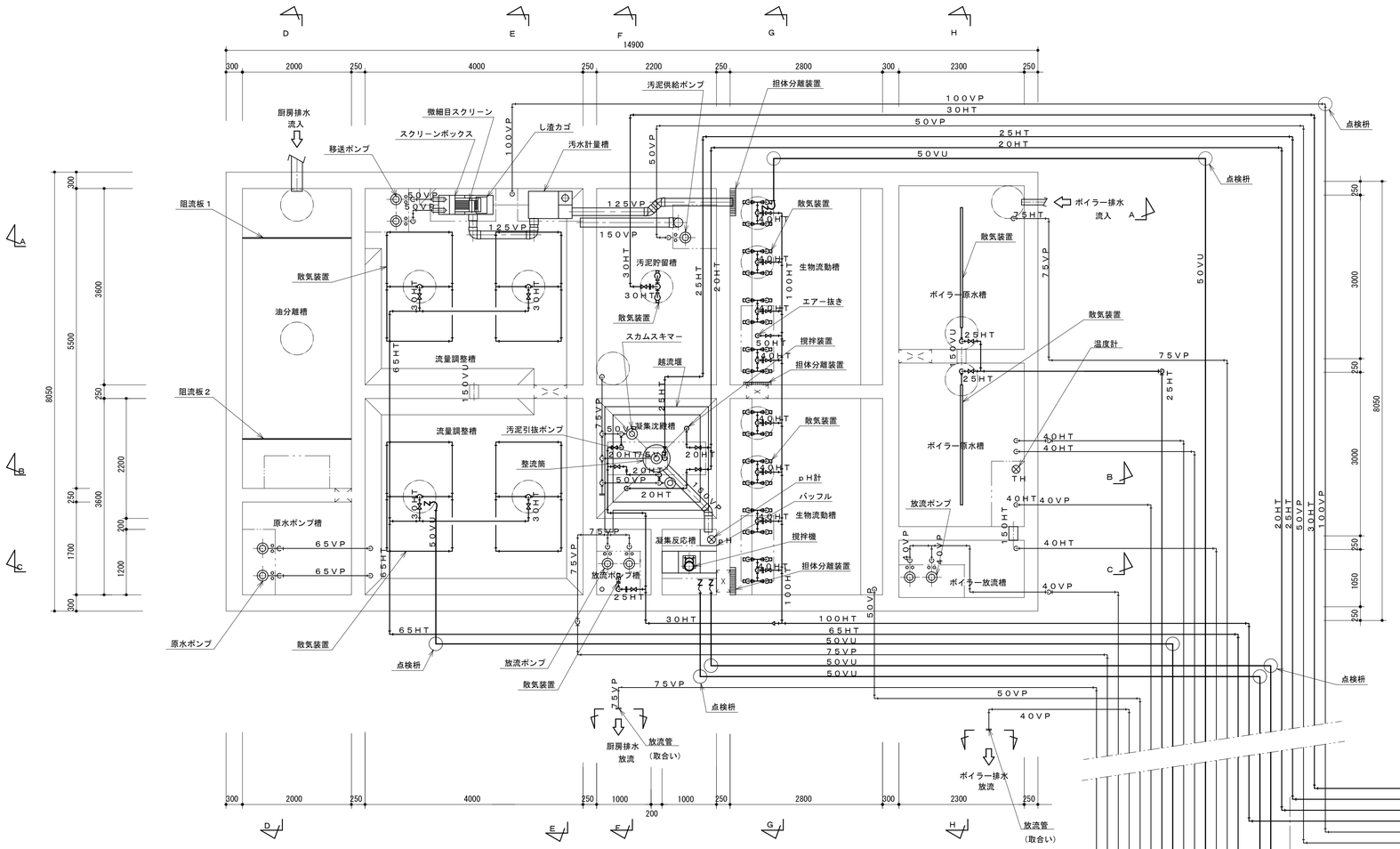
角型点検口　Ｂタイプ　800×800

縞鋼板+ｽﾁｰﾙ製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	ｽﾁｰﾙ製受枠 PL-106×60×6
CHPL-4.5t + CB90P = 35.3	材質：SS400
材質：SS400	表面処理：溶融亜鉛ﾒｯｷ
表面処理：溶融亜鉛ﾒｯｷ	ﾊﾟｯｷﾝ t=5×46

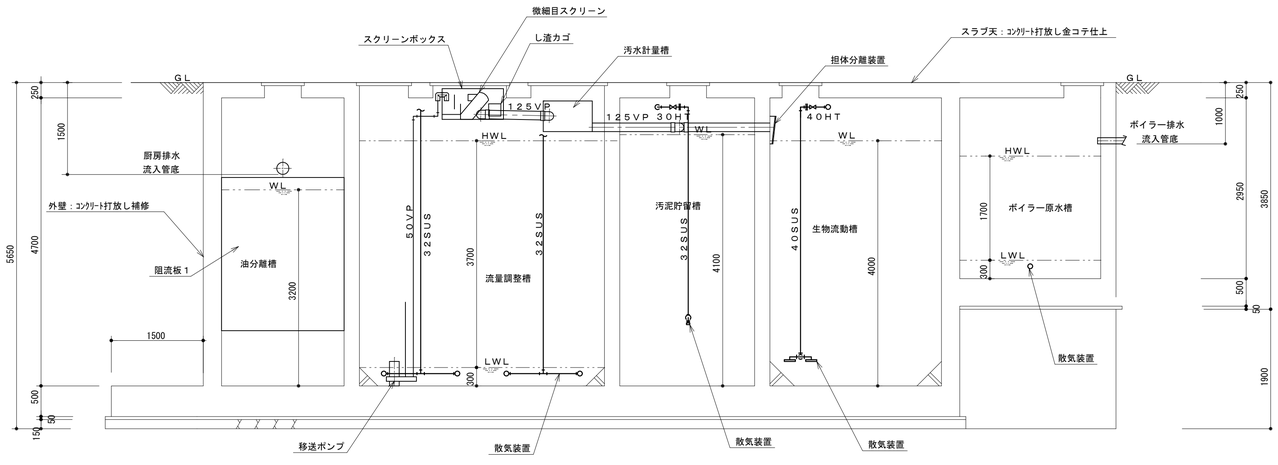


機械室平面図　　S＝1／50

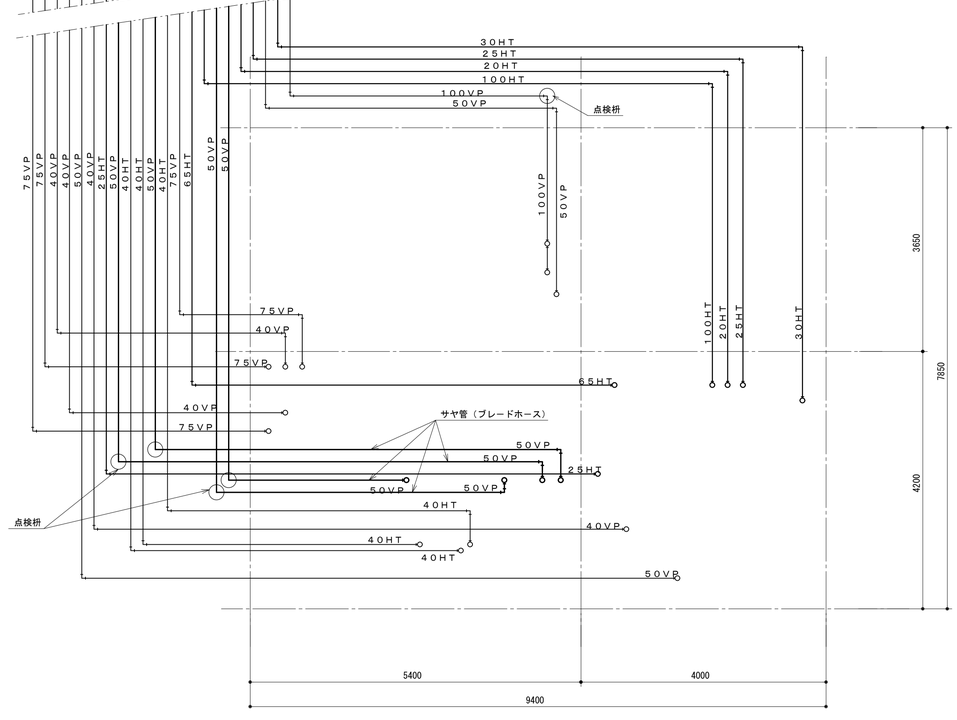
記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：排水処理設備　一般構造図（１）　縮尺：1/50　図面番号：J-008



処理槽平面図　　Ｓ＝１／５０



Ａ－Ａ　断面図　　Ｓ＝１／５０

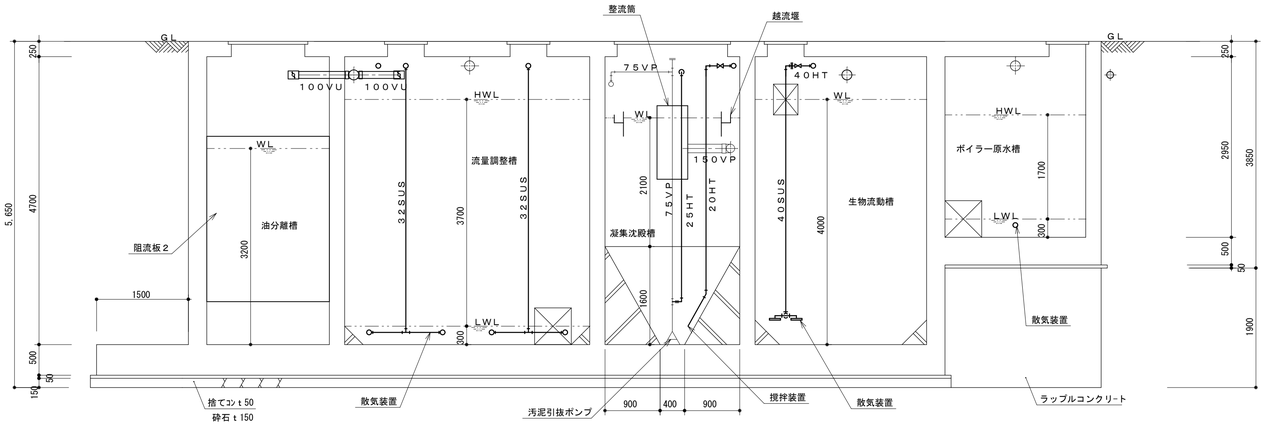


貯留槽内部仕上表（建築工事）

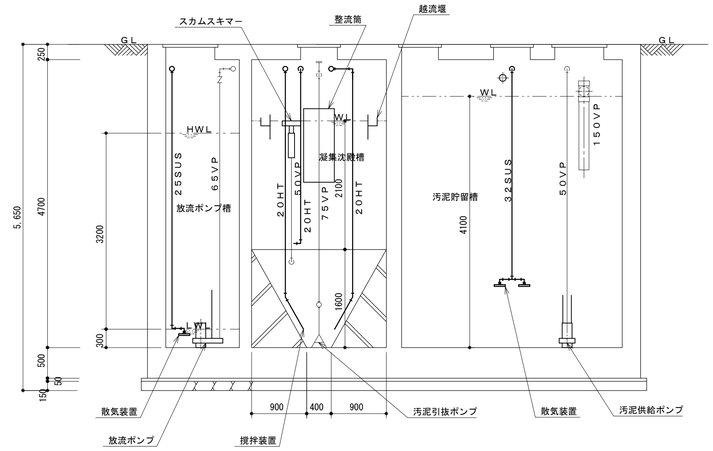
室名	壁・床	天井
ボイラー原水槽 ボイラー放流槽	防食塗装Ⅰ（耐熱仕様） 耐熱エポキシ系防食材　t=6.0 ＡＢＣ商会　ケミクリートＥ5000 モルタルライニング工法同等	なし
油分離槽 原水ポンプ槽 流量調整槽 汚泥貯留槽 凝集沈殿槽 放流ポンプ槽 凝集反応槽 生物流動槽	防食塗装Ⅱ 日本下水道事業団　耐硫酸性試験Ｃ種対応工法 無溶剤型エポキシ樹脂防食塗料 ＡＢＣ商会　プロテクリートＥ　Ｃ工法同等	壁・床と同じ

※防食塗装Ⅱは下水道コンクリート構造物の 腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（日本下水道事業団）に対応した工法とすること。

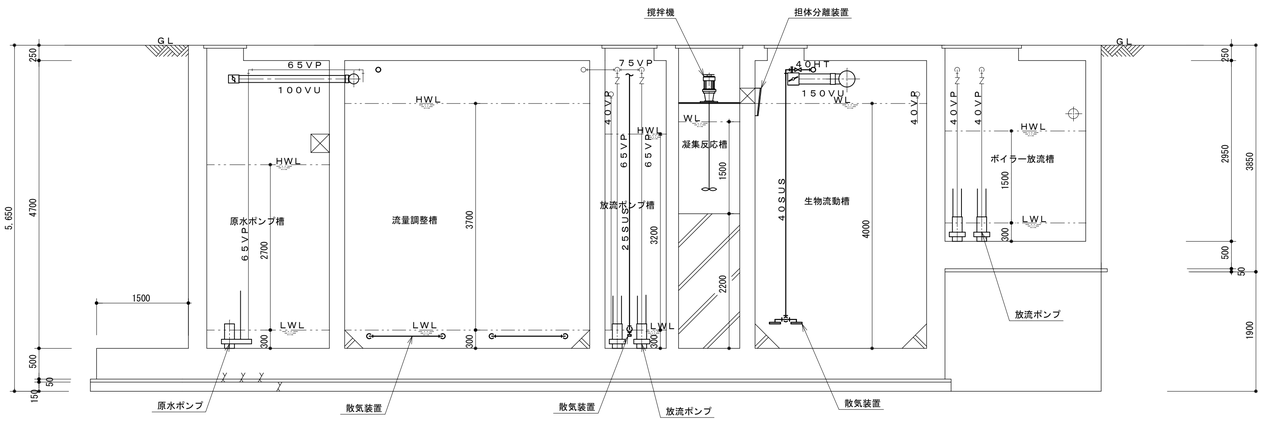
記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：排水処理設備　一般構造図（２）　縮尺　図面番号：J-009



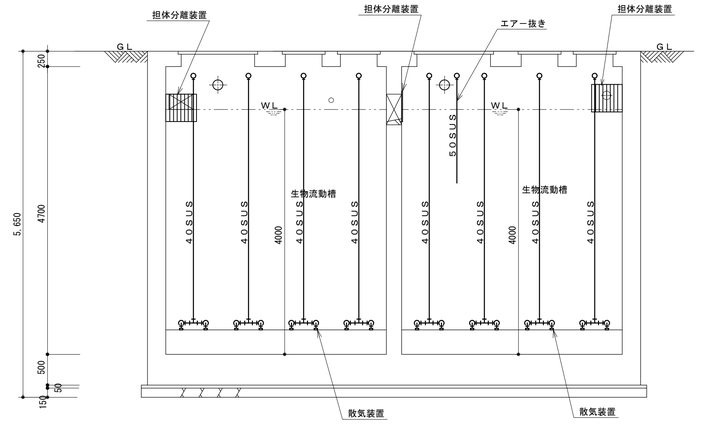
Ｂ－Ｂ　断面図　　Ｓ＝１／５０



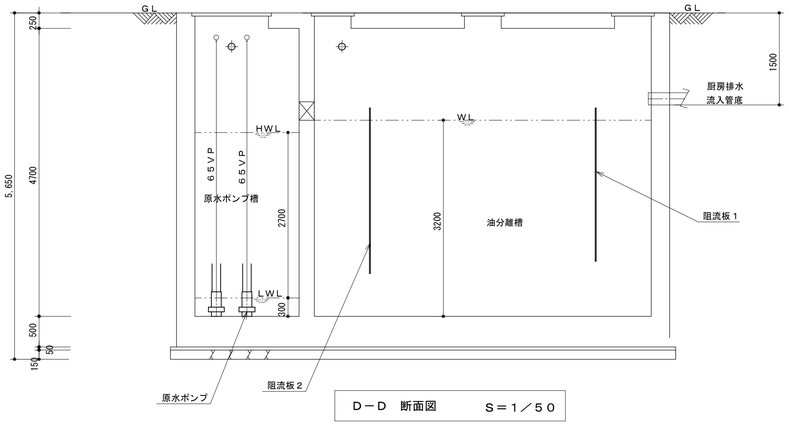
Ｆ－Ｆ　断面図　　Ｓ＝１／５０



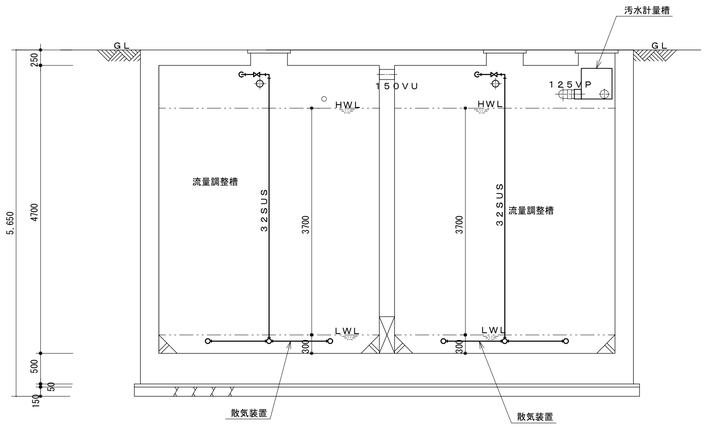
Ｃ－Ｃ　断面図　　Ｓ＝１／５０



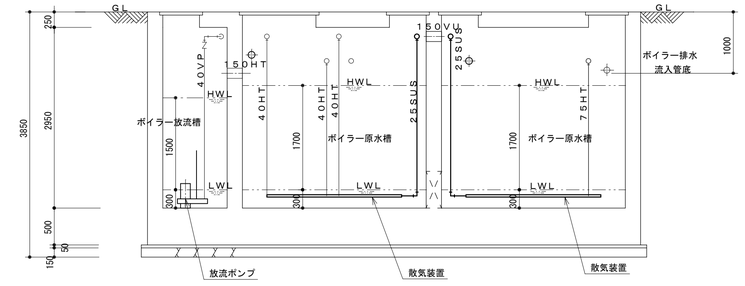
Ｇ－Ｇ　断面図　　Ｓ＝１／５０



Ｄ－Ｄ　断面図　　Ｓ＝１／５０

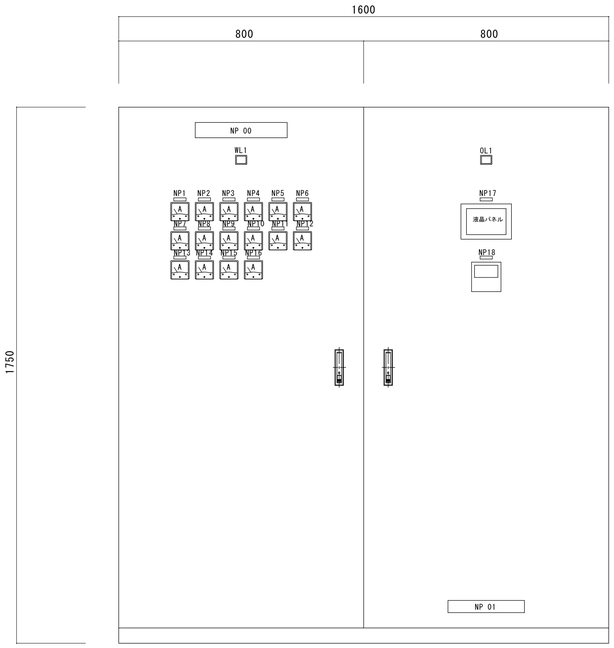


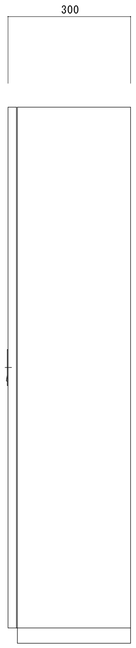
Ｅ－Ｅ　断面図　　Ｓ＝１／５０



Ｈ－Ｈ　断面図　　Ｓ＝１／５０

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：排水処理設備　一般構造図（３）　縮尺　図面番号：J-010

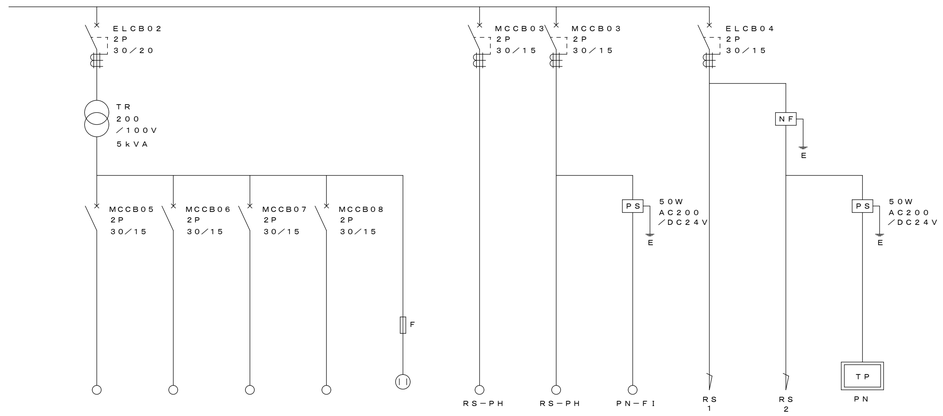




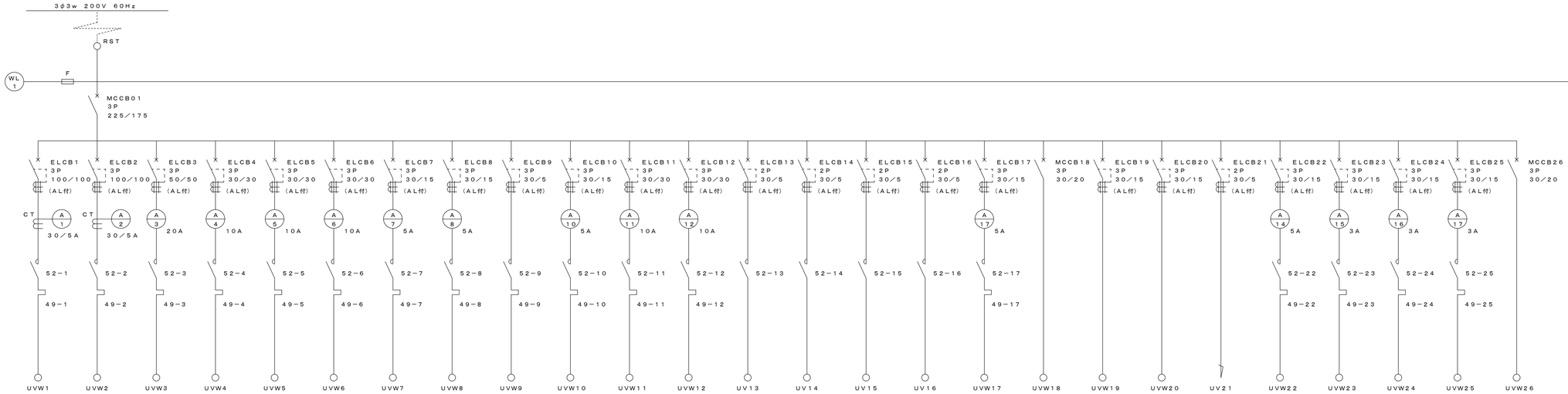
符　号	記 入 文 字
NP 00	厨房・ﾎﾞｲﾗｰ排水処理装置制御盤
NP 01	社名板
NP 1	厨房排水　ﾒｲﾝ送風機　NO.1
NP 2	厨房排水　ﾒｲﾝ送風機　NO.2
NP 3	厨房排水　調整槽送風機
NP 4	厨房排水　汚泥槽送風機
NP 5	厨房排水　原水ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.1
NP 6	厨房排水　原水ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.2
NP 7	厨房排水　移送ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.1
NP 8	厨房排水　移送ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.2
NP 9	厨房排水　反応槽撹拌機
NP 10	厨房排水　放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.1
NP 11	厨房排水　放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.2
NP 12	厨房排水　脱臭装置
NP 13	ﾎﾞｲﾗｰ排水　原水槽送風機
NP 14	ﾎﾞｲﾗｰ排水　放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.1
NP 15	ﾎﾞｲﾗｰ排水　放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.2
NP 16	ﾎﾞｲﾗｰ排水　排気ﾌｧﾝ
NP 17	操作ﾊﾟﾈﾙ
NP 18	pH計
WL 1	AC200V電源
OL 1	一括故障

制御盤姿図　S=1/10

（参考図）



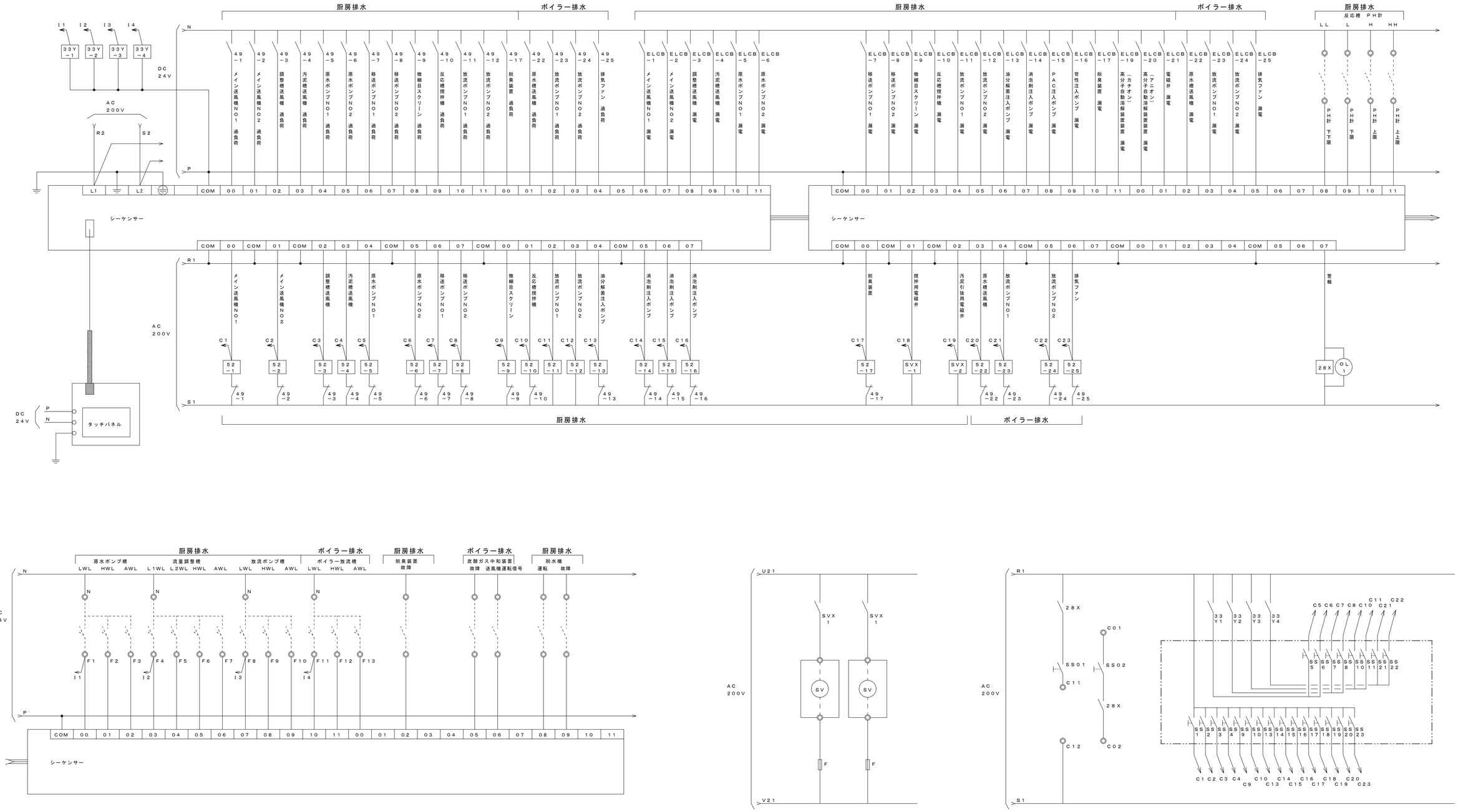
AC100V	AC100V	AC100V	AC100V	AC100V	AC200V	AC200V	DC24V	AC200V	AC200V	DC24V
前室 電灯設備	機械室 電灯設備	脱水機室 電灯設備	誘導灯	パソコン用 コンセント	FE－16	pH計電源	流量計電源	操作電源	シーケンサ 電源	タッチパネル 電源



NO1	NO2			NO1	NO2	NO1	NO2			NO1	NO2									NO1	NO2		
メイン送風機		調整槽送風機	汚泥槽送風機	原水ポンプ		移送ポンプ		微細目 スクリーン	反応槽撹拌機	放流ポンプ		油分解菌 注入ポンプ	消泡剤 注入ポンプ	ＰＡＣ 注入ポンプ	苛性 注入ポンプ	脱臭装置	脱水機	高分子 自動溶解装置 （カチオン）	高分子 自動溶解装置 （アニオン）	電磁弁 電動弁	原水槽送風機	放流ポンプ		排気ファン	炭酸ガス 中和装置
7．5KW	7．5KW	3．7KW	1．5KW	1．5KW	1．5KW	0．4KW	0．4KW	0．025KW	0．75KW	1．5KW	1．5KW	0．015KW	0．015KW	0．018KW	0．018KW	0．75KW	1．8KW	0．225KW	0．225KW		0．75KW	0．25KW	0．25KW	0．2KW	0．8KW
厨房排水																					ボイラー排水				

電気系統図

記事		検印	担当印	業務名称 交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	工事名称 （仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	設計年月 2014/03
				株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印 ・　・	図面名称 排水処理設備　電気図（１）	縮尺 1/10	図面番号 J-011



シーケンサーＩ／Ｏ図

攪拌用電磁弁　汚泥引抜用電磁弁

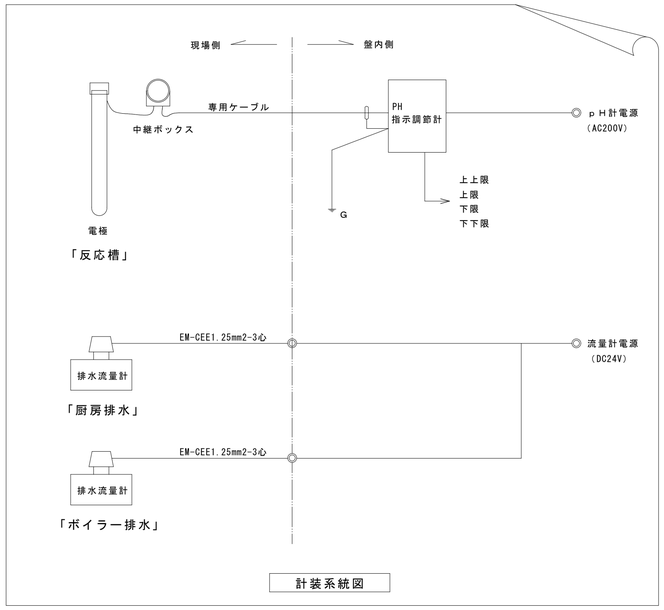
外部警報出力　　非常時回路

シーケンス図

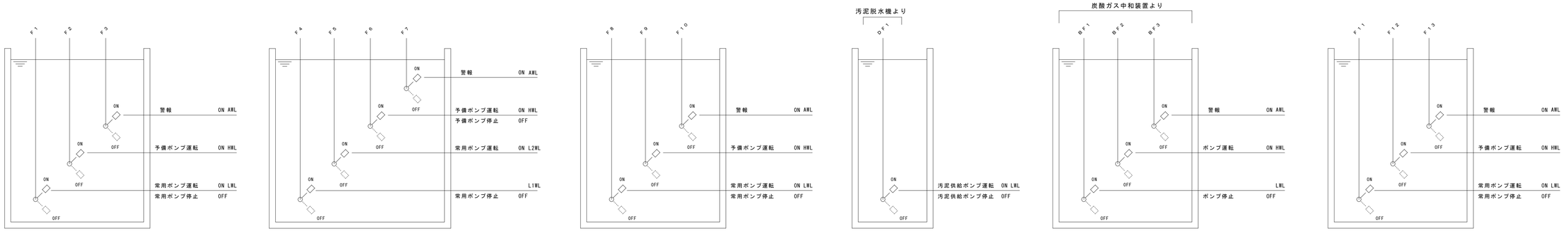
記事		検印	担当印	業務名称 交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	工事名称 （仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	設計年月 2014/03
				株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印 ・　・	図面名称 排水処理設備　電気図（２）	縮尺 —	図面番号 J-012

機 器 動 作 表

機器 No.	機 器 名 称	容量 (kW)	動　　作
M-1	メイン送風機　NO.1	7.5	通常時：連続（1台）運転 間欠時：24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）による間欠運転 ﾀｲﾏ設定による自動交互、故障時健全側に自動切替運転
M-2	メイン送風機　NO.2	7.5	
M-3	調整槽送風機	3.7	通常時：連続運転 間欠時：24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）による間欠運転
M-4	汚泥槽送風機	1.5	脱水機運転信号による運転、又は24Hﾀｲﾏ(TPﾀｲﾏ)で回数設定、子ﾀｲﾏ(TP)の設定による運転
M-5	原水ポンプ　NO.1	1.5	原水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 LWL以上で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 HWL以上で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 ﾀｲﾏ設定による自動交互、故障時健全側に自動切替運転、原水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 AWL以上で警報発信
M-6	原水ポンプ　NO.2	1.5	
M-7	移送ポンプ　NO.1	0.4	流量調整槽 L2WL以上で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL1以下で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 流量調整槽 HWL以上で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、HWL以下で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 ﾀｲﾏ設定による自動交互、故障時健全側に自動切替運転、流量調整槽 AWL以上で警報発信
M-8	移送ポンプ　NO.2	0.4	
M-9	微細目スクリーン	0.025	移送ﾎﾟﾝﾌﾟに連動運転、移送ﾎﾟﾝﾌﾟ停止後遅延（TPﾀｲﾏ）停止
M-10	反応槽撹拌機	0.75	移送ﾎﾟﾝﾌﾟに連動運転、移送ﾎﾟﾝﾌﾟ停止後遅延（TPﾀｲﾏ）停止
M-11	放流ポンプ　NO.1	1.5	放流ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 LWL以上で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 HWL以上で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下でﾎﾟﾝﾌﾟ停止 ﾀｲﾏ設定による自動交互、故障時健全側に自動切替運転、放流ﾎﾟﾝﾌﾟ槽 AWL以上で警報発信
M-12	放流ポンプ　NO.2	1.5	
M-13	油分解菌注入ポンプ	0.015	24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）で回数設定、子ﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）の設定により運転
M-14	消泡剤注入ポンプ	0.015	24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）で回数設定、子ﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）の設定により運転
M-15	ＰＡＣ注入ポンプ	0.018	移送ﾎﾟﾝﾌﾟに連動運転、移送ﾎﾟﾝﾌﾟ停止後遅延（TPﾀｲﾏ）停止
M-16	苛性注入ポンプ	0.018	移送ﾎﾟﾝﾌﾟに連動、かつ反応槽 PH計下限以下で運転、PH計下限以上で停止、又は移送ﾎﾟﾝﾌﾟ停止後遅延停止
M-17	脱臭装置	0.75	入－切による連続運転
M-18	脱水機	1.8	電源供給・警報信号・脱水機運転信号
M-19	高分子自動溶解装置（カチオン）	0.225	電源供給・警報信号（脱水機盤へ）
M-20	高分子自動溶解装置（アニオン）	0.225	電源供給・警報信号（脱水機盤へ）
SVX-1	撹拌用電磁弁		24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）で回数設定、子ﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）の設定により運転
SVX-2	汚泥引抜用電磁弁		24Hﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）で回数設定、子ﾀｲﾏ（TPﾀｲﾏ）の設定により運転
M-22	原水槽送風機	0.75	炭酸ｶﾞｽ中和装置よりの運転信号で運転（ﾎﾞｲﾗｰ原水槽 LWL2以上で運転、LWL1以下で停止）
M-23	放流ポンプ　NO.1	0.25	ﾎﾞｲﾗｰ排水放流槽 LWL以上で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下で常用ﾎﾟﾝﾌﾟ停止 ﾎﾞｲﾗｰ排水放流槽 HWL以上で予備ﾎﾟﾝﾌﾟ運転、LWL以下で停止。 ﾀｲﾏ設定による自動交互、故障時健全側に自動切替運転、ﾎﾞｲﾗｰ排水放流槽 AWL以上で警報発信
M-24	放流ポンプ　NO.2	0.25	
M-25	排気ファン	0.2	入－切による連続運転
M-26	炭酸ガス中和装置	0.8	電源送り、信号受け（一括故障、送風機運転）「機側制御盤にて自動運転」
			※　pH計は下下限、上上限で警報発信とする。
			※　故障時健全側に自動切替運転は、自動交互選択時とする。
			※　24Hﾀｲﾏの設定は、TP(ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ)で15分刻みの設定可とする。
			※　ﾀｲﾏの設定は、TP(ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ)で設定可とする。



計装系統図



水　位　図

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：排水処理設備　電気図（３）　縮尺：－　図面番号：J-013

符号	名　　称	仕様・型式
ＰＢ１	プルボックス	１５０□×１００（ＶＥ・ＷＰ）
ＰＢ２	プルボックス	２００□×１００（ＶＥ・ＷＰ）
＿|＿	ケーブルホルダー	１点支持（ＳＵＳ）
＿||＿	ケーブルホルダー	２点支持（ＳＵＳ）
＿|||＿	ケーブルホルダー	３点支持（ＳＵＳ）
ＨＨ	ハンドホール	６００□×９００Ｈ

注意事項

１．一次側電源引込工事（接地工事共）は電気工事とする。

２．外部警報配線工事は電気工事とする。

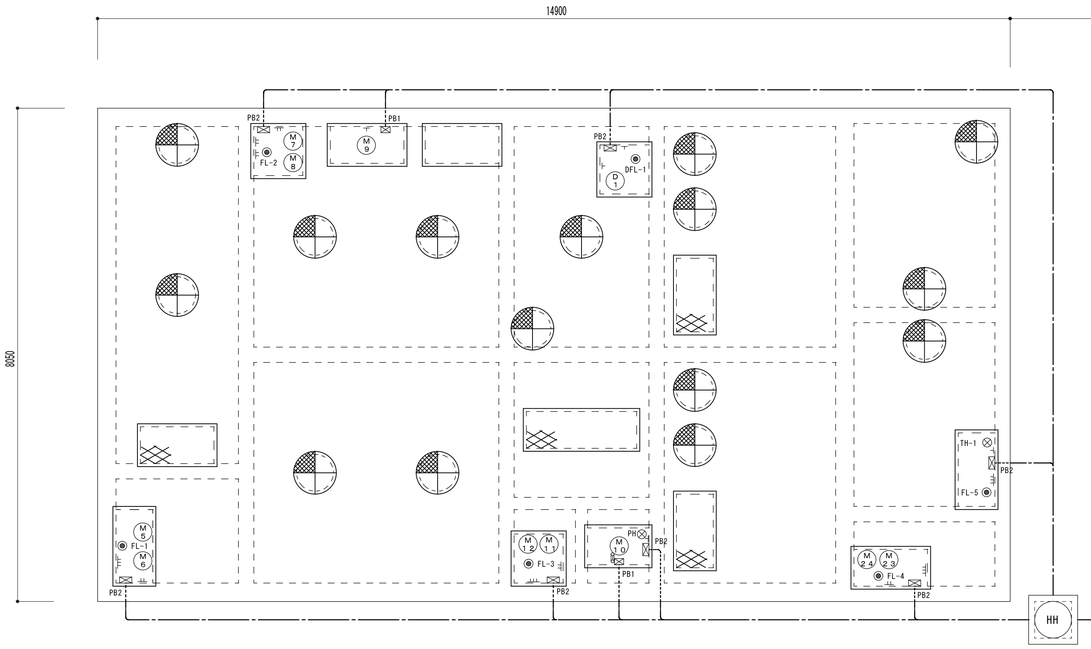
３．照明・コンセント工事は電気工事とする。

４．ケーブル間の接続部は充分な防水処理を行うこと。

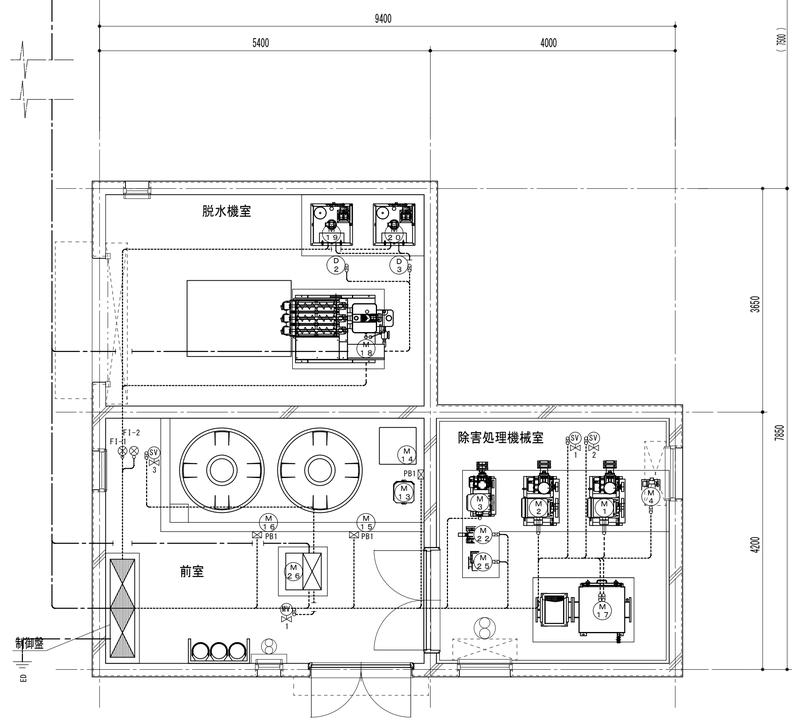
５．電線管端末部にはコーキング処理を行うこと。

６．プルボックス・ケーブルホルダーの取付位置は現場合わせとする。

７．ハンドホール及び、配管経路は現場合わせとする。



ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心 × ６	ＦＥＰ ８０
ＥＭ－ＣＥ ３．５ mm2 － ４ 心 × ４	
ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心 × ３	ＦＥＰ ５０
ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ５ 心 × １	
専用ケーブル × １	ＰＦ ２２
ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心 × １	ＰＦ ２２
ＥＭ－ＣＥＥＳ １．２５ mm2 － ３ 心 × １	ＰＦ ２２
ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心 × １	ＰＦ ２２
ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ２ 心 × １	ＰＦ ２２



２次側配線図　　S=1/50

厨房・ﾎﾞｲﾗｰ排水処理装置制御盤

符号	機　器　名　称	容量（KW）	ケーブル	電線管	備考
M1	厨房排水 ﾒｲﾝ送風機　NO.１	７．５	ＥＭ－ＣＥ ５．５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２８	＃３０ビニルプリカ
M2	厨房排水 ﾒｲﾝ送風機　NO.２	７．５	ＥＭ－ＣＥ ５．５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２８	＃３０ビニルプリカ
M3	厨房排水 調整槽送風機	３．７	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M4	厨房排水 汚泥槽送風機	１．５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M5	厨房排水 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.１	１．５	ＥＭ－ＣＥ ３．５ mm2 － ４ 心	ＦＥＰ ４０	
M6	厨房排水 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.２	１．５	ＥＭ－ＣＥ ３．５ mm2 － ４ 心		
M7	厨房排水 移送ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.１	０．４	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＦＥＰ ３０	
M8	厨房排水 移送ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.２	０．４	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心		
M9	厨房排水 微細目ｽｸﾘｰﾝ	０．０２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
M10	厨房排水 反応槽撹拌機	０．０２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M11	厨房排水 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.１	１．５	ＥＭ－ＣＥ ３．５ mm2 － ４ 心	ＦＥＰ ４０	
M12	厨房排水 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.２	１．５	ＥＭ－ＣＥ ３．５ mm2 － ４ 心		
M13	厨房排水 油分解菌注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	０．０１５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２８	
M14	厨房排水 消泡剤注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	０．０１５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ３ 心		
M15	厨房排水 ＰＡＣ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	０．０１８	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２２	
M16	厨房排水 苛性注入ﾎﾟﾝﾌﾟ	０．０１８	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２２	
M17	厨房排水 脱臭装置	０．７５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
			ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M18	厨房排水 脱水機	１．８	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
			ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ６ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M19	厨房排水 高分子自動溶解装置（ｶﾁｵﾝ）	０．２２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
M20	厨房排水 高分子自動溶解装置（ｱﾆｵﾝ）	０．２２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
SV1	厨房排水 電磁弁		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ２ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
SV2	厨房排水 電磁弁		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ２ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M22	ﾎﾞｲﾗｰ排水 原水槽送風機	０．７５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M23	ﾎﾞｲﾗｰ排水 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.１	０．２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＦＥＰ ３０	
M24	ﾎﾞｲﾗｰ排水 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ　NO.２	０．２５	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心		
M25	ﾎﾞｲﾗｰ排水 排気ﾌｧﾝ	０．２	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
M26	ﾎﾞｲﾗｰ排水 炭酸ｶﾞｽ中和装置操作盤	０．８	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
			ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ６ 心	ＰＦ ２２	

厨房・ﾎﾞｲﾗｰ排水処理装置制御盤

符号	機　器　名　称	容量（KW）	ケーブル	電線管	備考
FL-1	厨房排水 原水ﾎﾟﾝﾌﾟ槽水位計	ＦＳ×３個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
FL-2	厨房排水 流量調整槽水位計	ＦＳ×４個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ５ 心	ＰＦ ２２	
FL-3	厨房排水 放流ﾎﾟﾝﾌﾟ槽水位計	ＦＳ×３個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
FL-4	ﾎﾞｲﾗｰ排水 ﾎﾞｲﾗｰ放流槽水位計	ＦＳ×３個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
FI-1	検査系排水 排水流量計		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２２	
FI-2	ﾎﾞｲﾗｰ排水 排水流量計		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２２	
PH	厨房排水 PH計		専用ケーブル	ＰＦ ２２	
ED	Ｄ種接地工事		ＥＭ－ＩＥ ８ mm2	ＰＦ １６	

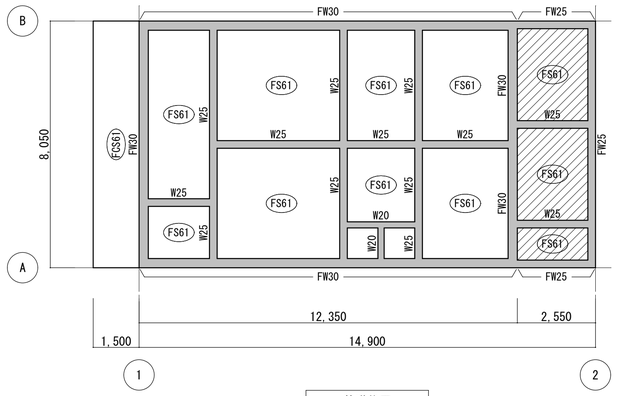
炭酸ｶﾞｽ中和装置操作盤

符号	機　器　名　称	容量（KW）	ケーブル	電線管	備考
MV1	出口三方弁		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ６ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
SV3	冷却水電磁弁		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ２ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
FL-5	ﾎﾞｲﾗｰ排水 ﾎﾞｲﾗｰ原水槽水位計	ＦＳ×３個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
TH-1	ﾎﾞｲﾗｰ排水 原水槽温度計		ＥＭ－ＣＥＥＳ １．２５ mm2 － ３ 心	ＰＦ ２２	

脱水機制御盤

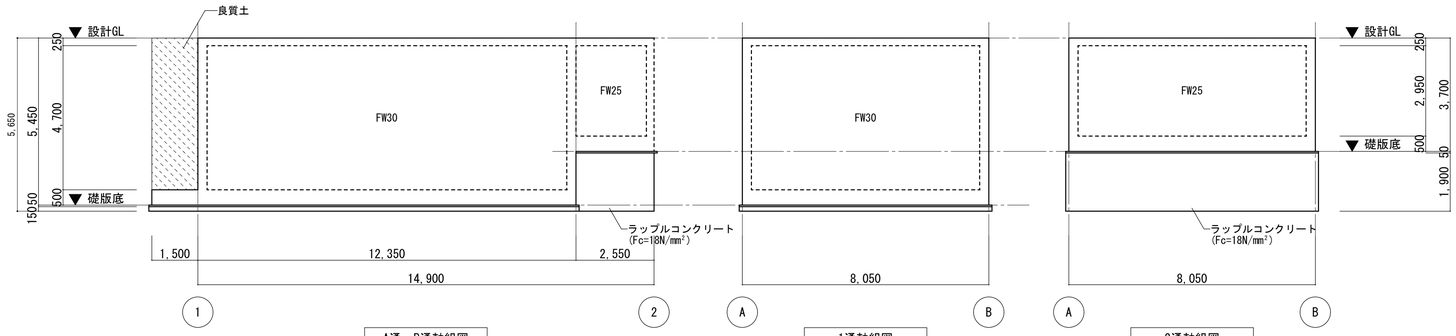
符号	機　器　名　称	容量（KW）	ケーブル	電線管	備考
D1	汚泥供給ポンプ	０．４	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	
D2	高分子注入ポンプ（カチオン）	０．２	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
D3	高分子注入ポンプ（アニオン）	０．２	ＥＭ－ＣＥ ２ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	＃２４ビニルプリカ
DFL-1	汚泥貯留槽　フロートスイッチ	ＦＳ×１個	ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ２ 心	ＰＦ ２２	
	高分子自動溶解装置（カチオン）		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	（異常信号）
	高分子自動溶解装置（アニオン）		ＥＭ－ＣＥＥ １．２５ mm2 － ４ 心	ＰＦ ２２	（異常信号）

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称 排水処理設備　二次側動力配線図 / 縮尺 1/50 / 図面番号 J-014



基礎伏図

特記無き限り、
・礎版底は、GL-5,450とする。
・▨は、GL-3,700とする。



A通・B通軸組図　1通軸組図　2通軸組図

R階伏図

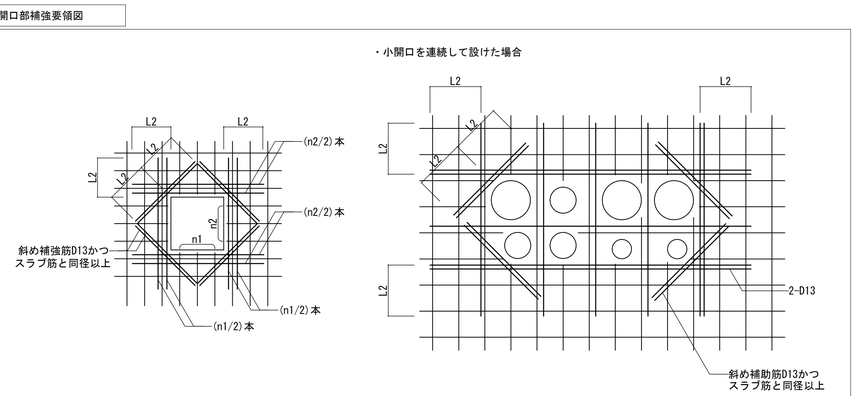
壁リスト

符号		FW25	FW30		W20	W25
断面			外側 内側			
壁厚		250	300		200	250
縦筋	外	D13@100	D16@100		D13@200	D13D16@100
	内		D13@100			
横筋	外	D13@100	D16@100		D13@200	D13@100
	内		D13@100			
巾止筋		D10@1000	D10@1000		D10@1000	D10@1000
一般開口補強筋						
縦筋		2-D22	2-D22		2-D13	2-D22
横筋		2-D22	2-D22		2-D13	2-D22
斜筋		2-D19	2-D19		2-D13	2-D19
交差部		4-D19	4-D22		4-D13	4-D19
備考						

礎版配筋リスト

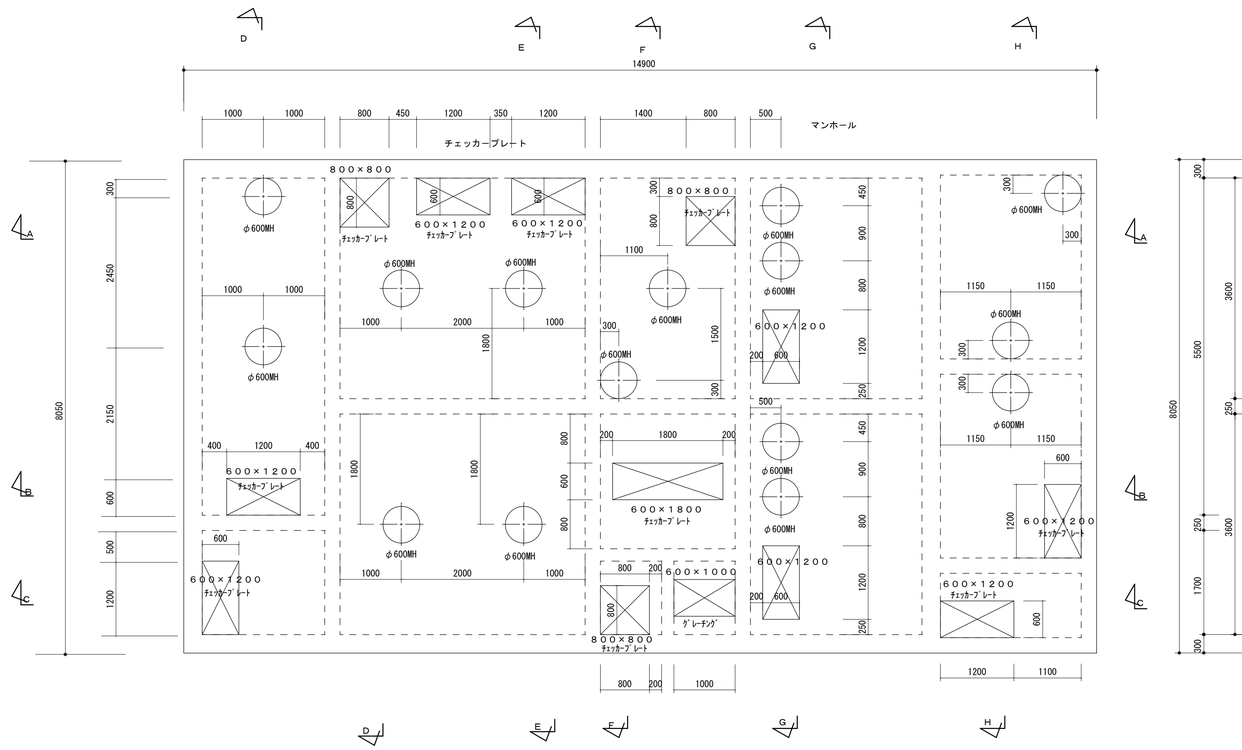
版名	版厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S61	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	
		下端筋	D13 @200	D13 @200	
S62	250	上端筋	D13 @200	D16 @200	
		下端筋	D13 @200	D16 @200	
S63	250	上端筋	D13 @200	D13 @150	
		下端筋	D13 @200	D13 @150	
FS61	500	上端筋	D16 @200	D16 @200	
		下端筋	D16 @200	D16 @200	
FCS61	500	上端筋	D16D19 @100	D16 @200	
		下端筋	D16D19 @100	D16 @200	

床開口部補強要領図

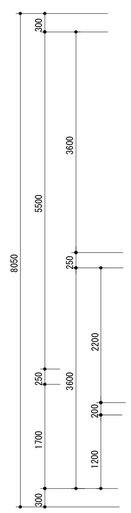


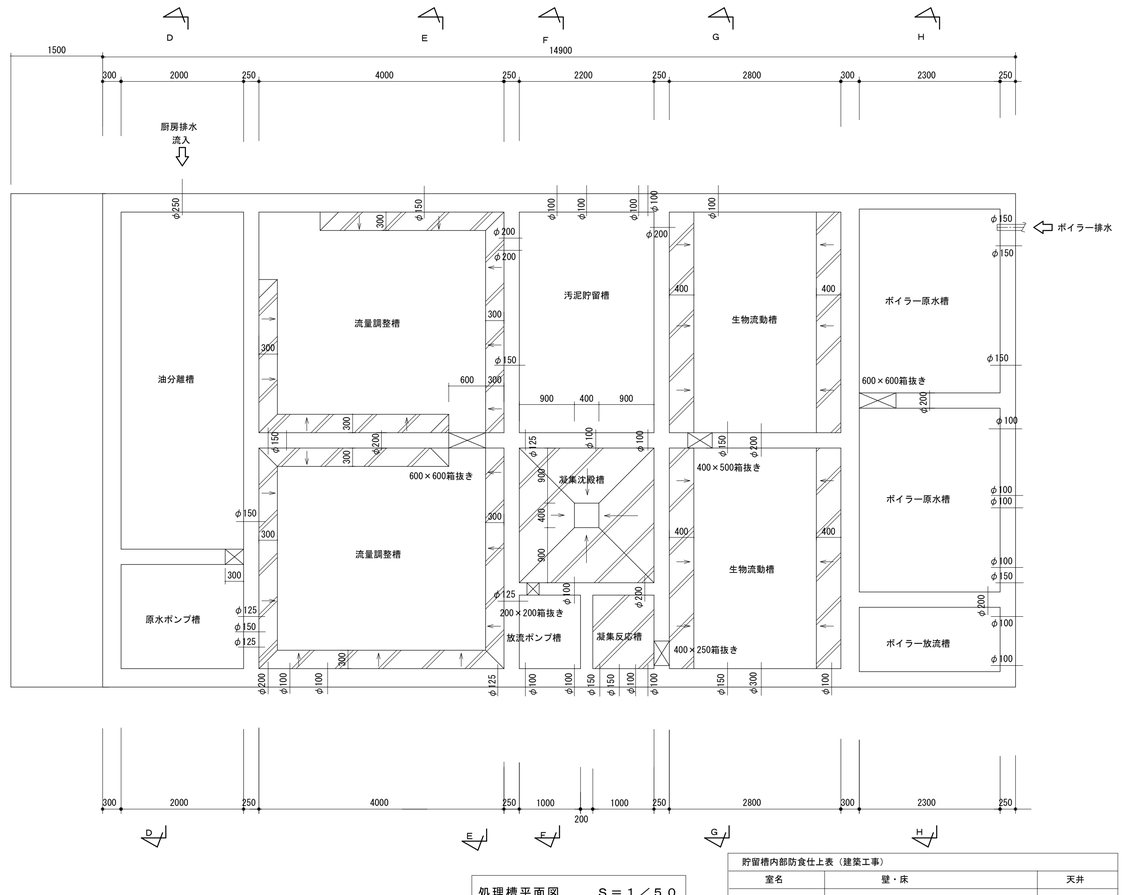
［ 作図・法適合確認 ］　一級建築士登録　第２４８６８９号
構造設計一級建築士登録　第４０１１号
沿野　友義

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印　・　・	図面名称：排水処理設備　躯体構造図(1)　縮尺：1/50・1/100(A1) 1/100・1/200(A3)　図面番号：J-015



上部スラブ平面図　　S＝1／50

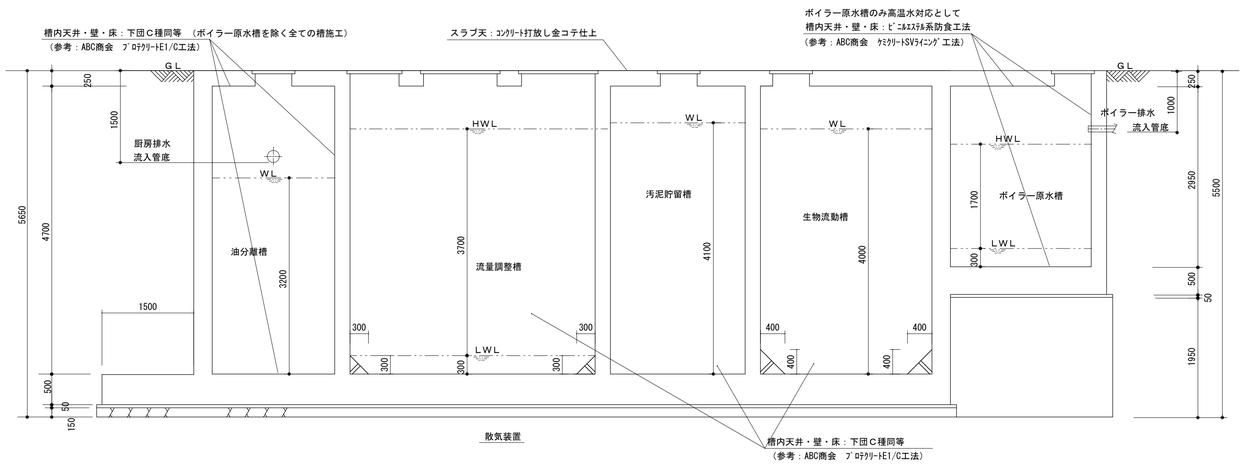




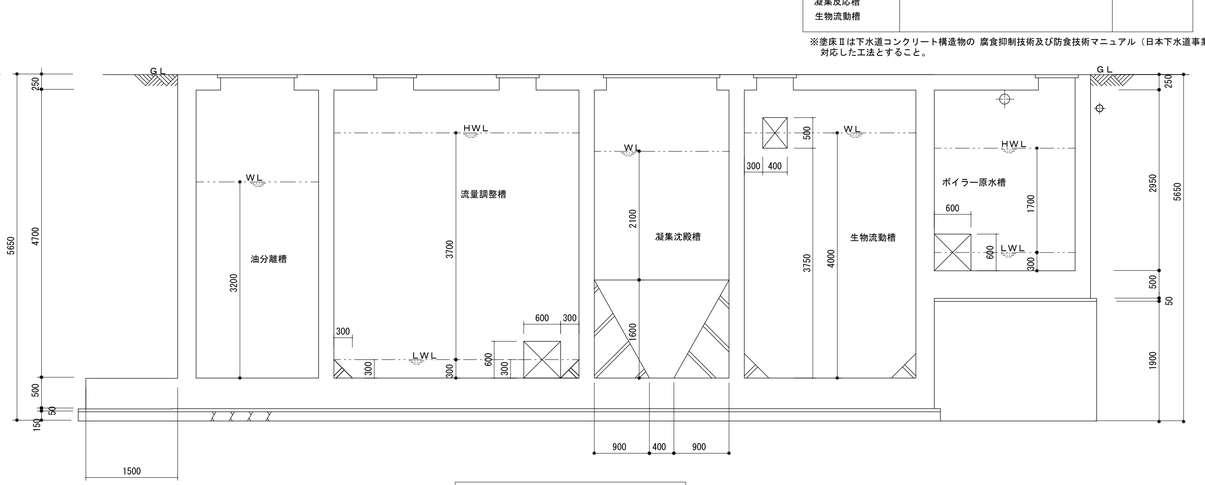
処理槽平面図　　S＝1／50

貯留槽内部防食仕上表（建築工事）		
室名	壁・床	天井
ボイラー原水槽 ボイラー放流槽	塗床Ⅰ（60度の蒸気排水に耐え得る耐熱仕様とする）壁・床と同じ ビニルエステル樹脂耐熱・耐アルカリ・防食塗料 ＡＢＣ商会　ケミクリートＳＶ　ライニング工法同等	
油分離槽 原水ポンプ槽 流量調整槽 汚泥貯留槽 凝集沈殿槽 放流ポンプ槽 凝集反応槽 生物流動槽	塗床Ⅱ 日本下水道事業団　耐硫酸性試験Ｃ種対応工法 無溶剤型エポキシ樹脂防食塗料 ＡＢＣ商会　プロテクリートＥ　Ｃ工法同等	壁・床と同じ

※塗床Ⅱは下水道コンクリート構造物の 腐食抑制技術及び防食技術マニュアル（日本下水道事業団）に対応した工法とすること。

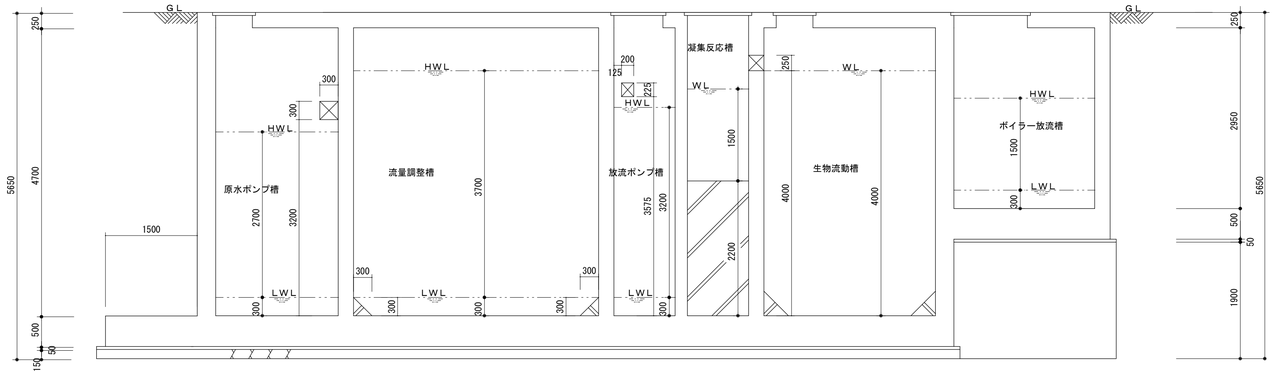


Ａ－Ａ　断面図　　S＝1／50

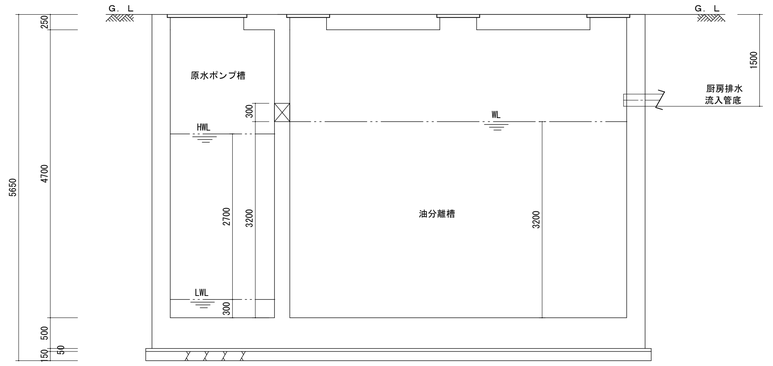


Ｂ－Ｂ　断面図　　S＝1／50

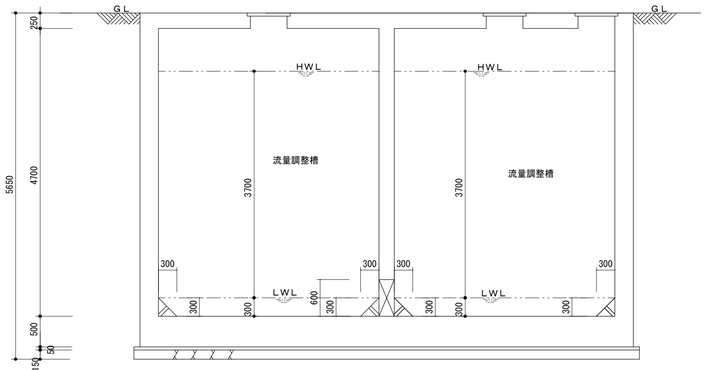
記事		検印	担当印	業務名称	交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	工事名称	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	設計年月	2014/03
				株式会社 綜企画設計	一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	印	・　・	図面名称	排水処理設備　躯体構造図(2)	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)	図面番号	J-016



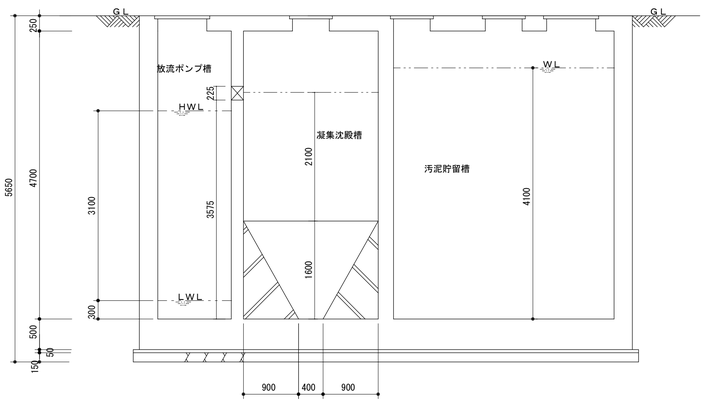
C－C　断面図　　S＝1／50



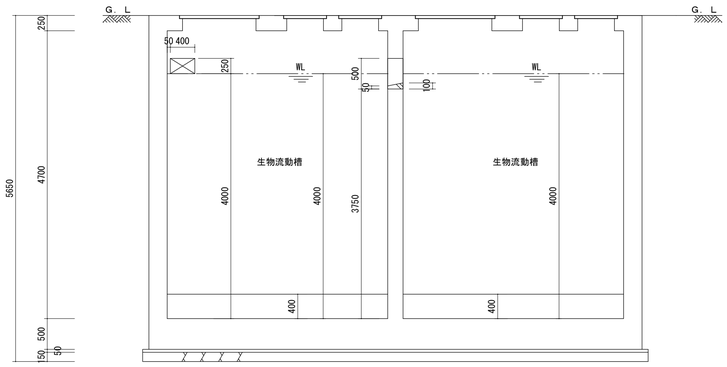
D－D　断面図　　S＝1／50



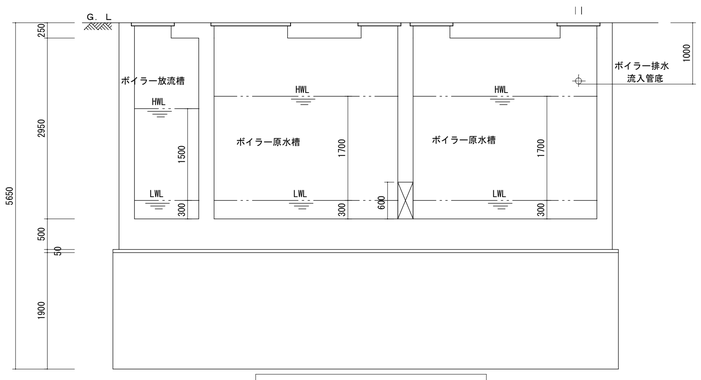
E－E　断面図　　S＝1／50



F－F　断面図　　S＝1／50



G－G　断面図　　S＝1／50



H－H　断面図　　S＝1／50

記事	検印	担当印	業務名称	工事名称	設計年月
			交野市学校給食センター整備事業実施設計業務	（仮称）交野市学校給食センター建設工事の内除害施設貯留槽設置工事	2014/03
			株式会社 綜企画設計　一級建築士（大臣）　第３０５６１２号　北田　久晴	図面名称：排水処理設備　躯体構造図(3) / 縮尺：1/ 50(A1) 1/100(A3) / 図面番号：J-017	